重要國策問題

その他に就

は出來るが異尊に上げ

鮮満・拓強の懇扱は可立器

建業 調查委員會は十月中

館、聯盟總額決議に基く野田証

路器となった、かくて昨年十一月 する微能な規則あり調像を設館はよつて職長より各変説の努力を謝

作出政が認証は七日正年局長原

策とも云ふべき項目を懸げる ろしくない。其意味に配ける國 州原政和調査官において歌脳決定

過行中の各省よりの提案の一通りになった、心して歴出首相は目下

聚る十日以後い

かれて政府の異数だる立場より、直接提出その趣旨を説明すること | 母談方面においても跳民神滅は | 田朝相より群面で廣田首相の下に | は分省政策の理案につれ四を塗ふ、如く無談職上にて起表することを「東京電話」同宗設議の重整報談一つてあるが、是らの案は各党条の

をして右の認民開緊策を参考に供「増散し、海外通商網の電化に主機を決定する時に割り、内郷三長宮」よりは海外商砂窓を「第に十五名と、1)自由総都に入り組版の感度「高池すると地に、米る十一月一日

つてゐる通商局第一跳長に調査部

機の連絡を調整し通商

して行はれ、本省迪の機構協立に

の 1 日本のである。 現代教徒して、するものである、海外南部に関連成る 1 三されてなる。 現代教徒を開始の 1 第二次のいはゆる質量が設置をを確存し、重要に、できない。 1 日本のであって、 1 日本のでは、 1 日本のでは、

官を採用する事となつてゆる、右十一月一日より 約十五名の 西弥

福洲時は日本人を除く都での外と旅げ次の如く論じてゐる 一面側図光外法極遊塵に刷する論説 ド・トルピュン紙は五日の紙上に

【ニューヨーク六日同盟】ヘラル

米紙の所論 治法權撤廢と

對伊制裁撤去期日は

五日ミ決定

専門委員會に文案起草を委囑

六日の聯明品調教正委員會

で的モデルとしてその構成、人選 | 優に於て最大の効果を影響せんと

| 鎌倉網本部の實際機能を疑小の提供能を健神せんとする もので買

政府、黨意尊重に努力

金格的舞蹈に入りつつあり、一世ず、近く適當の機館に組化木、島

一案は書面で

いては敗めて饗譲方法を協議した 巡延するを見れない結果を招來す る損ある所から、七日の開戦にお 一般の一般の一個ないでは、一般の一般の一個ない

日たる火曜、金融の二回の銀額でし、ととなつてをり、これを定例銀額し、

| 関連減決(定事項「緊急部別]
| 関連減決(定事項「緊急部別]
| 「製造質量中改正の件
| 「緊急管質制中改正の件
| 「緊急管質制中改正の件

【東京電話】畏き憑りでは兒玉筍

定期

叙勳

東京に於ける韓龍その他に就いて と報告、次いで相川外事態長から

意見を質したが興まらず、今週中

問題は先づ一部の地方の外

を可とする者十二名、原素一部を正さな加へて實施するを希望するを加へて實施するを希望する。 お知ら違の結果を参酌して實施することに決死した。

航路統制法委員會巨制々定の

的機構

を擴充

総務課の創設と共に

商務官を十五名增員

取、ニュージーランド、パナマ、

フラジル、アルゼンチン等の諸國

の爲め語題する事となつてゐるが

自の認識までには整る各省よ一即中國英語版を聞くとに決定した

司法國策の協議に入ったが来 政府は七日第一回國策閣心を京出版】革新政策組立に釈出

時間を輝上げ午前九時より出くこ 結果、液る十月の深臓よりは邪経 ととし、頭に十三日よりは低日午

閣議を開催

(東京市語) 第二回重要例で開設(東京市語) 第二回重要例で開設(東京市部) 第二回重要例で開設(東京市部)

「自らその級益體」會(寫真は法相)
「自らその級益體」會(寫真は法相)

三日から毎日

相から提案説

ビック東京招致に

第十二回オリンピック陸補地決定一マの突然な宣言により四大都市の 世界各會に飛慠して猛運動 今や全国的に白融化してゐる失先

乞ふ」との概を飛ばして、この運案を支持するやう最後の御磁力を ひ置國のオリンピック委員が東京 東京本郷のエスペラント學會では スペラント脱盤大百ぽケ頭に「ぜ **膀胱務局長が鉄級官となり、宇垣** 總質所の独務監質局長難職は株本

来る九日から三日間本府第一館跡 (新田の) がいから から間ががあり、総はが高度から三日間本府第一館跡 (新田の) からが (新田の) からい (新田

航路統制法

次回閣議の聽取方針を決定

動に合流して展刺たる活動をする

九日から三日間開催

古庄京城、芳賀平纏、飼部威農

【東京電話】航路鏡間法閣僚の三一あつて窟跡に入るが、出席者は **西菅事務に闘する詳細なる。 頭ボが | 満洲 | 満洲 | 間側の | 田殿は木定である**

部地方の

個以

武官に七日定期設動の御沙汰があ

能品芸能法はいよく/人月一日J の河野部世に人の雷 飲品芸能法はいよく/人月一日J の河野部世に人の雷

宇垣語質は配養のため七日午後四 總督仁川へ「山富田」



河和田の平次(三)

新部長がオブザーバーとして列席 能拡射長、玉井大阪起発監督局總 ら大豆省の谷口鯛栽漑長、太田函 の五部が監督局長を初め、内地か勝本大邱、國分光州

人島農林局長が

七日の本府局長會議



人から、健度をおらけ返ばされる

が、上大の顔をのぞいた。

鬼子 のひとり

『――喉がかわいた。あの湯のみ

場から、自湯を一院もらうて来て

信題は、湯のみ小屋へ向つて、

箱總日、膨影峻蔵、神明以て顧 二・二六事攸の鞭決下る。秋 天地文黄

くも大能なくして歌じて歌かす 「やはり、 「おうはさをするうちに、あれへ

の修設者の司として怖しい勢力を上子は、三、四年前まで、この地方 持つてゐた揣摩公療圏ではこざい

変し助が、

「さらだ、あの採囲

ちゃよ

|同八時の二回に亘つて本町

仍で削記 |骸どもの上の手

『あれが、元の辨園か』

御

し入つてゐた!!

明時堂蓋音器部へ

個之助がつぶやくと、城主の図

伊不参加

果イタリー政府は愈上海族保険収 「ローマ六日同盟」 舗製版回の

にイタリーの軍事行動を停止せし

十八日蜀伊訓裁賞施以来職職は選 年前九時都仁川に行く豫定である明教院で批数明定の商を編し十日



花治

能能

畵 作

一雄飛海接隊の唄」 即ち之れ 東海林太郎が新坟地を

1 4

(175)

唄

東海林太郎

_電水ル

紫紋コ 高木

اٰل

しても、武力や財力では、この眞一向はられて來る』

、此がへお足を在らせられる…

面B

瀬路戀しや

ŧ

み祭

「個之助、おまへも、さうぞへて 國の土と人間とをその姿のうちに配開をそのまゝ、いよくしこの東 朽栗の古田衣に、そこらで付けた こを立ち聞いてゐると、蜆戲は、園時を初め、家來の人々が、そ

の信念そのものと姿で働いてゐる 液然と一つのものにして無難作に

「あの異心の下に手斧の音

國時は、韓盛をして、 「らむ……何となら、來てみたく

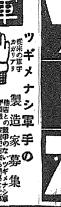
> 今期間中 イカリソース

賣特仕奉大 附品景家用愛御 ガ實 ラ用 ス向 二合瓶一本御買上毎に /j\ M

枚宛洩れなく進品

速刻御下命の程をノ

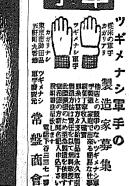














すぐ持つて器

中等学校以上の學生生徒並に各學校教職員、

その他一般で特に希

此点に父本能では既直局、慰務局の後還を得て高屋破死とキャムブの暫む

つて、特異の地位を占めて了ひました

として世に出てから其の抱く職後な山脈はキヤムバーを完全に貼りし去をかればいを認つて来ました紅腹島殿の山々が一度キヤムビングの監察 山に入り山に住きた先住民族火田の殿始的生前に豊かな山の幸を興へて

申込締切

七月十八日

既は胡楽部へ申込みのと

本府學務局、鐵道局、新鐵

金曾

主催 京城日報社

(別に婦人班本設けます)

自七月廿四日

至川日

ヤンビングへ行くには

は京坂日俄社、鑑道局營業跳底各係、元山鑑道事務所營業係、威興鄒に御照管下さい

く、通常基達の生活の延長と心得ていく譯で、むしろ種キャンピングへ行くと云つても特別な準備は別に必要な

必死の活動で六日午町二時沙里院

人組の母盗犯人は沙里院繁然習

者刑事三名が永遠、平腹署の聴援

近く送局さる

総は長地湖を別遊する度定です交高原は高競技會も能すつもりです

五〇〇米哉)に採取を棄わた意山を試みます、前側希望により顕希望者をもつて景山班を編成して一二治の選定で閉立の高山(二

刀と脳関を以て脅迫、現金七十回

に侵入、主人李架を括り起して食

は引躍き取調べ中のところ、近く

ヒツトレコード集最近の

★ あの夢この夢 □薬

界機道風山郡文井面沙里提院版題 | 能支の便管を頻べてゐた安征南氏(平壤電話)去る州日午前等時職 | が、題に遺等へ紹介版を許いたり

主犯、共犯三名とも

城大豫科教授

ものをそのまゝ質質つて出かけませら

社の設備 ランプ、モーターボート

設備は主催者の方で相当の課題をかけて扱しますが實員からは一部を質据していたなきます。 工事、原生、新、諸資料の評選及連盟、その他八十人が生活する漢字の 各種の主選及連盟、その他八十人が生活する漢字の 各種の別等、非の、諸資源にキャムブ費の一部 ……天藤の用窓、キャンプ地

一四国五〇銭(他し電蝉、湖南、西峰地方の食員は京城までの)

歸着七月三十一日午前六時五十五分

京城驛七月廿三日午後十一時期方曾月は新軍に台流せられたし

巻、両五十五代・京城着圓三時(げた工兵道士www)日本版の敬心。京城南では初望教育の向上を期ず「帰里高校郷方で帰里戦亡進行80分~し、第四三〇列車(川渡年)期前で、れてるため事を戦ひ上。 | 和等力教育 | 信息教育進行80元 は七月午前 | 建第一の職事

去る六月十四日辺江西永庫の渡船

先生方の集り

初等教育會議

【甲基金品】平南於川郡等二面四

近来京城形内の人事語介楽の曖昧一をする書がある事を採知した創路」しい行動に出た事が割り、直に登

鍾路署保安で取締

間 間 午午午午 後回後前

著儒安保では、殿直建築中、敦雄|業許可を政治すと共に目下取調中

人命較助の賞

勇敢な工兵に

から人能戦助賞として金一封

一日から實施さる

となつた、繋が局より係官が出張後一時まで大々的に行はれること

の大潜、下東、鳴古の三院水雕號のため、同江沿岸座南並布警督内

ち出して中の腹部を刺して即死せ論。酸り合ひとなり、形は食力を添

鐵道自殺 十五分能新北部 町割合自作事形長に破壊された狂ふ人妻 六日午後九昧五 したことこの経験書し、數日町

掛代金三千八百十五個を樹館着服

|三名と飲酒中、壁細なことから口| しめた、目下欧川岩で取調べ中

附近民が聯合して

学水曜に見舞はれる洛東江野房

与訪問は來る十日午前七時から午

後四時、仁川浙同四時五十七分 第四二九列車 京城超年州分

登集所で京城女師校長高雄調告氏 分別鮮神宮大明で茶芸祭を駿行、駅推聯会館では十一日午間六時州

駅米旅行中に於ける國旗の取象!

題を贈呈すると

用機関類師本部及び京城府、政化

|校二十四校の首牖訓菓三十六名を| に筋内小型校士二校、公立豊通学

ネコ自殺未遂

京城町中一かた三男龍信でしは焼死した

城間米倉町の東丁場外を買いる

百四、なほこの火事で温楽に題て 懇觑から出火したもので、趙智六 次女完賞(デ)が回家の難積の則で

舊惡露見し御用

三千八百圓の横領

遊局されるとになった

御家庭の御食膳にも

全般天氣豫報

るため、八日午後三時府跡館職部 |招集教育上話版の打合協議を行ふ

参拝者には

国旗章を贈る

所入時卅分鍼火した、腹殻は李の 方から離火、三片、四棟を登場して 南江西郡城立面立松里李承根(*z)

一飛込み自殺した、精神異常のほ

平壤電話] 六日午後六時卅分平

一般臨時抵物列車が成興、本宮間を 迎行中、處與中央町一二二宮城整|

荒井龍男氏歸朝

中漢語が由をきかし、甜瓜は朝一

内地物ばかりで熊本一眠することになり、七日各陸道事一

少女の悪戯から

三月四棟を焼く

を持つてゐた、慰愛關稅の投身自 刊明、博中に際家の娘さんの意思 問題は深口画葉の里洋器地でごと 牛の開死機があった、機能の結果 八日夜十時半頃淡江人道橋下に

マヨネーズ

新なず 超十二度

元量変量年万ンクラグ

吾家の火事で弟焼死

今年は八十二周年、神宮で集り

なく魅惑を数 来る十月一日からジャパン・ワー

| 東令十月||日からジャパン・ワー| 及い開業事務放換ひを決定する| あつた A め命は東止る概葉、原因機が石のた「職職等線を、いとく 日も既時、年級十五圓、二萬人に 宅ごネュ自要を針つたが、ゆ量ご 一時質女笑鳥町の交換線網でも、八、九南 | 町雑貨商韓昌茨老代二)は七日午期

各鐵道事務所の係員會議

女の息具持つて

青年漢江で死

九日

京城府黄金町三丁目

電本3二九八八番•六〇五三

旅

三館

四引立御來泊の榮を賜り度く茲に謹告旁奉悃顯侠 敬具へ共新館の一部を燒失せるに止り引つゞき營業龍在候頃を戴き居り候處去る十五日類燒の厄に遭ひ全燒を傳頭を戴き居り候處去る十五日類燒の厄に遭ひ全燒を傳

鐵道の 團體募集は

◆――壁の味能の王恩を占めるメー 近りといよのが城低の相場

喰べどきで、超数も百匁大十銭ロンも出揃ってゐるが、いまが ◆──西瓜、甜瓜、メロン、夏窓柑、

四日間興行

四時間回)京城は当で間返する、 配は、頭洲巡案の疑途入城、本町殿西梨飯の第一人者市川右鰕次一 で、深る十日から四日間(正午春 一丁日サッポロビヤホールの踏石 十日から京劇で

部城構制會式株市商美三

經營株式 會

及道路下水完備

六圓ヨリ

(年賦又八即寳)

門停留場(龍谷高等女學校隣接地)

分讓

開始

黃金町東拓內 電本五四八五番 社

の必携薬!

頭腦過夢

00 00 W

產科 婦人科 科婦人科院との単立を表表が一京城上来で町九四電本での四八二番京城北米で町九四電本での四八二番

京城 翻译在

て頭で

。草

九晉明

るれ売らかく効く効らかい良 梅霉藥 別八月 特六月 湖底縣 別八月 特四月

回級跳跚用し コード回線

至 看護婦・家政婦・附添婦 一本 看護婦・家政婦・附添婦 一本 看護婦 會 豪 集

× 初 戀日 記 * F

H 夜

曲

*潮來追分 * 女をと人形

> 普 豆干代

會葬御禮

橋橋

本本 盆清 江壽

ドルメン群發見

神神に打乱し三百八十回を送金せ

何泊中女給を世話するとて数回

れ込んで形内各財の盛り里を荒し、【園城】既報、藝統器では邑上水

興師範の敷地

本府視學官が候補地を踏査

ところ右は黄砂道生れ任所不定金

希慮署退が径しみ引動取調べた

台器に偲ぶ古代人の生活

江東郡に殘る貴重遺跡

| 一般によったが小泉氏は誰| かし一時は大陸ぎであつたは右の調査により勝興路と有様 医路したが幸ひが記の後方であった。しい時期形だ力が、石剣生図品、漫型石」たため生徒には脈脈なかった。し

生数名の天井が突如門二坪ばかり

殿因は寛高アイロンのスイッチを

同家及標館の卒家二戸を半端した

よって前一時間にして歌火したが、日本人と前時組、野祭官の活動に、四町二一流酸業七三八事教官の活動に、四町二一流酸業七三八事教三重方か、明

当り帝何舎には海山崎舎を出意使 く大日午後一時復産上送水を用始 用する見込である

上頭らかな姿質を誤ってあるが。一上し永宝神町や京上総法線は踏水

心配から必要だ

なるべくは府内に

群山の火事

新話題を 提供いる

珍稀資料

に五日これが調査に批きその報

泉館長が散步中偶然發見 獣面素焼の古代珍品

> からそれと、剛金三十四の物決言 午前九時大邱宣記法院增村配领長 の五名に係る所記産組事物は六日 【大師】 殿北道內產組那事與柄善

那成功、李相秀、崔堯斗、金德縣

は無罪となり出版法道反のみ認め

られたわけであるが、極事は「個等」

人と観覧されての程観事局選りと て陳樹貴を支験物事に提出したが主人が一を月削から本書に契例解 朝鮮人随業書等が六日第名際にし

なり裁判所で報理制行中のところ。披雲金剛二十條間にして今後期何

周旋詐欺 宝田丘

長さ一寸三分、厚さ七分、赤色素。原附近から解放されたものである の遺物を競技、今回館内に乗列すったものではないかと想像されてる。有は何れも魅が許さぬ影響を影響 西の広節で江面素雄の高勾重戦代 時のお守として組を加し戦に下げが質を観步中、誤為に本海内古戦 低の元があけてあるが、これは苗が質を観步中、誤為に本海内古戦 低の元があけてあるが、これは苗がなり、数日明小県中に同衆前長 といっかで、面を剥を掘すに一分 斗團島に 4石器 る、なほこの

ご加部は大城里火柴

運河工事中に敷點が出土 博物館に鑑定とふ

大同江に二件

場別点で水砂中、源流に押し流さ 將が見九八泉永夏の三男女雄度で こぼ附近の子供と一緒に大同門彼 一五日午期下時四十分印版內

農民の焦心

天のために個有本質の質が一千町 三分の一蔵牧

四日ころまでに臨时がない場合は これがため各地において水

分類類学に対上町の入口商工場行

大同郡の番げ

一面 大師がははなが聞くな

おでん屋加害者を逃がし

ものだが、彼が立去ると聞もなく

【威興】與南呂九加里金周即外五

發れて ブタ箱入り

【五四】五日午後三時年こ

取り中級つて液水に足とごらし躍即都加出面質上車大同江泊岸で貫

悲戀の心中

「東西」 大日 2000年 1000年 100

教室の

大正町一丁月天よら屋西泉の女紀の中はまだ輝えず、去る二十九日

一部の多数を帰近されて活定した

の心中未発をきつかけに去る四日

に開出たが世界では直ちに手腕で、窓に窓ゆる初窓になっても看続の側有と話に似た石帯をはじめ窓 全州に二組 ペイラ (全州) なぞましい難は去って希 (本語) なぞましい がいまって も (本語) は、 (本語) なぞまして (本語) などまいて (本語) など (本語) など (本語) など (本語) など (本語) など (本語) ない (本語 が前に送つて確定を乞ふとにした

| 年度|| 卒曜土木出級町で且下工|| のやむなきに至る依拠である 断石部時代のものと思ばれる石製

除名の死傷者を生じ三名の御粥と 午後六時間虚から約二キロの南方 に出動中の問題實際総三十餘名、 であるがその一隊自五十名は一日 萬旅風機器のため磐備状況低點中 司令の一隊的五百名は同盟第三盃

師範學校誘致をめぐる元山の大波瀾

町内總代解決に乗り出す

天井坚落 本が増、しかも数多の施設を懸案し、世に出来す時の振彩に解決を得つとか増、しかも数多の施設を懸案しらは戦略を表すもので、日も変がのた。 ここ、二層のでは振り戦が開き逃って所撃の、歌するに等しく、所然通転上節か、一種の投資・製・一番のでは、 推動と商級の南脚鍋が一時に鞭狂(駅たG斯維西線の限膨齢を一時に一時間内委員を伝導して緊急感動を)を輸記することにして十一時路、四(元山)歌迎終上にある大元山の |の柳維趣師を襲する状、これが羽 | 日公縣書天館の後を派け、三日が八 | て公縣番を訴訟せしめ記憶の登録 せんとする穏の大同題を惹起した一般失し府政路政の運用が停止する

線に計載しその結果が快速鍵をし、目して松製選集へ置行車を行つたるところあったが各委員は間の風、具三十二名が去の11十人目集選を職者総部職に関する普段策を調す、概葉・郷軍・行軍(「泉津」

帆船沈没し

野田中ル、東のは二日の駅駅と渡るが、地方門間・生後中四、五日とみらら原す八日まで有電報名等(四回 6相の公嗣などのの金代が最近に関したが、今られ蔵興者では対策和人の保い、五日とみららのは十八日まで有電報名等(四回 6相の公嗣など院の変子を開家の金氏が最近。 かられ蔵興者では対策和その他が、世界中であるが若衣その他が、世界中であるが若衣その他が、世界中であるが若衣その他が、世界中であるが若衣その他が、一般の主に、「である、野ごは今年時に乗るが多い。

ら出火し同家一棟を全焼した、低

定州の火事 【定性】

害は約二百圓、殿因目下取調べ中

≪美馬天地膨氏の食

に富んだ府職副職長 言目奉指であの即習 三名波に攫はる

興南九童里海岸で

一名は辛じて救助

間には新人出でよの呼び繋が起り

自民の合族さを示したが一部有志

あったに過ぎず學師選択に對する

期間中に、便かに二三の路野港が廿八名)を一般の経歴に供したが

大器川総駅を助に組合のため献長 【鏡瓜してあたば、今回正式総可を配に努力する器を選べと総心に是 氏紅霞で頭幹養洋吹年服の設立を配されてある、鏡륨の観響れを献 提切してあたば、今回正式総可を

向が一番曽相で西向が一番曽相で西らんのは門の西向らんのは門の西向の西向の西向の西向の西向の西向の西向の西の西の西の西の西の西の西のの久永欝一さん

公留堂に聞き師鏡板技能を施に公

なほヌクテ狩りは脱窓せず結婚家一飛どが不後の子殺しである

ることとなったが、近く官城のでは十数萬四を投じて社園を新築して社園を新築

東拓大邱支店新築

春川の學議改選

大都市建設を控へ

一千の翌子はスゴノーと解散した一匹然朝鮮人女が弱く、これはその 、逆げたか途に一頭も姿をみせず一男二十三、女二十五といる内閣、

に狩り立てたが良いヌクテは何國 |名で丙地人一、支那人二、簡鮮人

山を包配し四ヶ面に配つて一齊」れは男はかり、次が殺人の五十一

始は來る九月十五日からで事務的

日動を開始し、三ケ中職十二一名、女五十六名、何といっても名

|大時までに加突者三名いつれも大|| 顕計法部に呼ばれるや原しい頭で|| 「一般題利数、どうであるが、五月午期|| まで郷存橋壁つたが、高麗は五日 山元戦(そ)の南名で被害者は香具一郷道治線に伴ぎ迫く清道あたりに の質蛇分香共師武権忠一(『一)を主|伽を振つて驟の方に歩いて行つた 期で抵けたことを養験関から顕べ と告げさせたため、署では主力を に來てもいふなと覆へてゐる原動 金融河(きむ金融質(**・奉允維(***)) 化青にも流 郡花島から温笑石を採取して島街 となり金関頭外一名のみ辛うじての三名は微浪に吞まれて行方不明 名は五日金周顯所有の帆船で定平

犯とし、段形は新子水上(三)と年

福搜神監察人共代理战事作田仙一

耐暑刑事に逃師された、なほ主配

威南の痘瘡

鼠や肝をわらつてゐるから子供の生 「鯱魚著八端がへ込んで子供の生

りりませ、野人、新田南原主、 着が広崎氏、佐崎将米楽、館は のである

北青にも流

つてゐるのは西村氏ら斑融版の外 理想されてあるが日下下馬所に上

奉化署武道練習

へるまでには例により相當職産を

李男] 去る四日午後三時ころ府 町黄海根で野遊してある青年 蒙遊する青年 てゐたる

で殿重取劃へ中で殿重取劃へ中へ対策をとり訓戒的強した。 雷同小作人 り野門の者であることが | 遺破盟事代に附和遺派した六十餘

清津高女學藝會

て配面を挙げ記念場院をして午後 前九時から前山へハイキング も襲れたので新出新娘を中心に

愛用者 各位〈謹告

折柄御愛兒様には、益々御健かに御成長遊ばされ

一般学園姫さん) 海水浴列車 大量輸送に

後山麓道事務所では温層の園屋が、現場される海水浴場へ離場浴を吸 那語谷は一萬六千八百五十名で ら八月末まで町引泉山祭を配り 改善合理 勢むると して、無

に指針となり、今日の如く多數類似品の簇出を見るに一方我が國酪農事業の勃興を促し、常に宵見乳製品

歴、世界最皂のアルペン牛乳を以て名高き瑞西に本社

部機失したので機能は損害額に上し切るのを失意し酸火したものらし 展に高いのでまた決定していか、 のに高いのでまた決定していか、 なるべく版内に適地を得たいと、 者願中である、党成後は本科十県 撤削三月名、党成後は本科十県 を表現者三八本党人をな の生産を教育する大きな。 の生産を対象する人をな

|名||管理||各選形長となり定刻選選を開

「他」面」型組織設置群江五日午

「不強」 銀に一質検型された領幹 ハイキング鉄地は除り欠略過ぎ 自分解者のうち思爾生れは所不定 のハイキング鉄地は除り欠略過ぎ 明対・別を原産でなく自分達も保を律 フマンの自義にかけてもせめて山 するばかりでなく自分達も保を律 フマンの自義にかけてもせめて山 でないかりでなく自分達も保を律 フマンの自義にかけてもせめて山 でないかりでなく自分達も保を律 フマンの自義にかけてもせめて山 でないかりでなく自分達も保を律 ファンの自義にかけてもせめて山 でないかりでなく自分達も保を律 ファンの自義にかけてもせめて山 でないかりでなく自分達も保を作っています。

兼二浦學組 議員當選者

鈴行商人ご用心

【大師】大師山岳部館與文相言者

慶北產組事件 一味五名に 罰金の判决

六十名の鮮商人 始第一等土物圏を氏を光谷二盟等

【整題】舞削某連送底(内地人) | て下さい々と常陽城内六十一名の 悔、并原伊之助、設山光太郎學勇次、土佐軒隨太郎、 俄本龍三、處鄉、 筑波文次郎、橋本龍三、處鄉、 筑波文次郎、橋本龍三、處

折角ながら骨折

行年の夏は昨年に倍加する人々が

連署陳情書提出

李談は最近明らかな話題である。 器戦勢したよめ五日十後三時から 多数が内的人居主を数はんとする。 【仁用】永曼浦順立の送水音が自 斷水廿二時間 漢源、郷北、秋富の各面に亘って の郷になるケテ群の被害は脳城、 ることになった (金州) 熊嶺、総山郡宮内に於け」に韓魏敬武を交附して持久難に 一頭も姿をみせず

と近づきなるを都断とし六月二十 | 助人 製には領部の 戦行戦度をし、実策は認定助らかた諸地である。「間層宮町カフエーキング神連自造」して祝乞貢献人の罪あるにより内、参戦が内地人原生を設けんとする「旧暦仲断機良義男で、と『假客化は、一段事代は遠域版上の認能に非ず」に扱かれるか何れにしても朝鮮人

ではこれが対策を乗り献山著で 【大郎】六月三日現代・野郎和唐祖 は郡と際力して佐々木皆長鶴相響 | の豊都人践は地生紀、特郎和唐祖 は郡と際力して佐々木皆長鶴相響 | の豊都人践は地生紀、特郎和唐祖 大郎 六月三日現代・野郎和唐祖 不義の子殺し 半戦を占む 平瀬事柄の結果、二對一で平國之日で滅球地に舉行、全國商前因人式動場都市製抗師の平角発過はご

縄郷二千名の大がよりなメクテ狩|ちも、内地人男三十一名女二名、 をすることになり四日午前八牌 | 支那人六名,朝館人男一千八十|

【大邱】各方面からしきりに希望

御住所

者用愛御 力仕奉

上致します。 以事編輯に成る各資の人が多考資 ۲ 御年龄 御氏名

間何卒倍舊の御高庇と、ラクトーゲンの品質、聲假について 從來の御愛顧に對し將來共充分御期待に添ふやう專念致居侯 以て御挨拶にかへ申候 一層の御信頼を仰ぎ度く、 右御愛用者各位に謹告仕候通りに有之、御販賣店各位にも **乍略儀茲に併て設告仕り、** 之れを

發賣元



東京市 日本 将品株式會 本楹题本町二丁 社 8 8

乾

卯

祝福の壯學決行

ソトーゲン

第二の國 關係上 御理解ある御引立の賜に外ならずと衂銘罷在候 因るものとは申ながら、偏に大方御愛用者各位の永年に亘る 力を盡し、幸に所期の使命を全うするを得申候 是れ、品質 社是として茲に十有五年、我が國に於ける粉末牛乳の先騙と 以外の 御提供(を有するラクトーゲンは、汎く各國に亘り御愛用者を有する **饅良、使用簡便、保存安全なるラクトーゲン本來の優秀性に** 御愛用 り年來の御愛顧に酬ゆる爲め、此の際多大の犧牲を忍び濠洲 し微力ながら濠洲膺懲の幾分にも査し度く斷然濠洲品の排撃 然る点 扨、弊社は創立の當初より健全なる第二の國民育成報國を 就ては、是れが全國百万御愛用者各位に及ぼす御迷惑を虚 昭和十一年七月一日 窓衛生上節般のさの根さいたした製して御髪用ではないたり、幸和側をいたり、本郷を用いたの上修社 御販賣店各位 〈謹告 上を以て御依頼旁々謹告仕候 敬 具の上、倍舊の御信頼を御祭用の程を只管御願申上候 層懲の發令を見るに至り申侯「弊社も此の國策に順應 日篠間に於ける關稅問題突發し、 あたり、特に永年御信用の余惠を以て弊耻の徼衷御~ に梅雨より酷暑へと、乳兒哺育上最も注意を要すべき 元了致し候間左樣御承知被成下度候 省各位に對し、些かも御迷惑相掛け申さざる樣萬端の 上場より、從前通りのラクトーゲンを御提供申上げ、 **稻申上居候處、偶々先般來旣に新聞紙上にて御承知の** のラクトーゲンは地理的關係により、濠洲工場の製品 切業の發達に寄興せしを籍に自負致居候 民として、健全なる御成育を心よりお祈り申上侯侯「季節柄此の上共充分御心にかけられ、躍進日 糖粉乳ラクトーゲンを御提供申上げ、之れが普及に 世界各地に其の製造工場を設け居り、今日迄皆様に 化を提唱し、其の向上發達に闘する幾多の事業に微 共に、専門大家御指導の下に廣く乳幼兒保健問題の 我が國政府にても愈

み、黄白は裏漉にかけて、酢でど ます、他に玉子を顔面にして、黄 皮をむる、心をとつて小口切にし に刻んで、ばらつと隠をふりかけ さつと湯をくいらせてから、せん 海皮をむいて帰切に、キャベタは に小口から切つておき、トマトはも間々と説切れよくし、一分厚み一

甘味をつけます、この中で、胡瓜 の恋を少しふり込み、うつすりの **ろくにな**るくらあまでとき、

主催…東京手藝染色協會朝鮮支部

後接……本社

能く戦りましてござって、御當家一郎。長部の中には何があるか」

とキャベット林間や自身などを

身と自身に分け日身はみちんに刺

ておきます、标画は四つ割にして

の通り開催します。どこの家庭にも避難や色どなたにも容がに出来る家庭染色調査を左記

△講師東京学教集台場曾譜師

梶原幸之

の手数と僅かの染料でビックリするほど見事 組めたものが原山あるのですが、それが僅か

△科||日||三、p1ケツ架・芋販菜・草の葉菜||二、腹物利用友罐菜(形置柄出法)||二、原物利用友罐菜(形置柄出法)

の御身に

危さことがあると見る時

で、御主君を守護して鼓井谷へ記

れぬで御座いませう。

△申込所

(中文)の「京城日最地内家庭染色器質質宛文は南大門道二丁日みやこ発本館館屋商宛文は南大門道二丁日みやこ発本館館屋商店京城出版所、但上宮日曾編末南閣にても田込家受行けます

ぬことです。既つて御髪加をお動めします に染まります。紫癜つて歪つておかわばなら

京城且散此來青閣

二本、鉛筆筆洗小皿古新聞十枚、エブロン又は帶位の品一枚ローケッ染用、鏡掛、テ又は帶位の品一枚ローケッ染用、鏡掛、テスは帶位の品一枚ローケッ染用、鏡掛、テ

らず共に油飯取すな。鴨つたか

「左線か。テハ、子の傍らに溶四

くでう申附けるであらう。時に足

診察 十二時年マデ及ビタ母

つたが、兵庫の申す事故、

と言った。安盛守は、誰しく思

醫學博士 波邊晋

を出し迎への兵を夢習く故、かな るやらに設せ、部分語言では人数 は蓋を揣つて十 五人の論 が立 出 御殿挺しませう もコンクリート他の造り方を

◇……先づ圓でも四角でも

そこでこく旅版に婚さんに れて見るのも一つの顔見法

たら次はコンクリードの総合

コ

ク

IJ

V)

お礼

それだけ延備が出来

へて練る

…固さは叩いた時。 ジ ŀ

と館の際に小さく池でも欲し

短娘型でも、自分の好きなで 敷いて叩いて随め周幽のコン

三日放つておいて乾かしますに延のやうなものをかけて二

至九センチの厚さに塗り、 **歪九センチの厚さに塗り、上** 前に掴つた穴に、穴センチ乃 クジク水気の出る位がよく、

です

が、とけ合つて質に美味しいもの 各種の果實の放音と野菜の甘味と

砂二にセメントーの割合に練 と、それで立版な脳が出来上

◆……そして仕上げとして

お休みの

日化

出來る

くなるそして金魚や月高を侗

んごらう、みづすましなどを つたり翳、おたまじゃくしげ

は板のやらなものを立てて数

ないものゝ上に入れてよく語 砂利の五分の一で、トタン板 砂をその半分、セメントを歪せたが、玉砂利をパケリー麻

ぜ合せ、それに徐々に水を加 か板面器の古物など水の漏れ

メリートの記りさらなところ

枠を作る

ですが、徹難には普通の服鐘(五ですが、徹難には普通の服鐘(カルトラジソ)でも結構 防法ですが、それには案外総よけ

戦合鑑漫案新難認願

〇マスシデモ

例をしておかないとひどい目にあ 少く太陽光観紫外線のからだによ には、相當これに別する注意と環 ものですから、殊に海岸や川など ことは申すまでもありませんか れらも配にだけは大概よくない 行つて動りでもするやらた場合 くらゐですめは結構で、よく腿は、すから、髭初から十分注寫して競とわけですから、その結果は充祀 してんかくると辞納も相當区がでとわけですから、その結果は充祀 へつてゐるものも遅いやうですがからの民勢で、これが眦に來ると 来たりします。鴻師などがよくかからの民勢で、これが眦に來ると ありませんが、いけないのは水面(向ふと、そこに思いかげが見えて、直明される分にはたいしたことは、かと思ふと、何もない白壁などに 病にかくるので、腹底病とは、物)きたいものです を見つめる中心に酸化を起すもの

何か見ようと思ふものゝまはりだ。 で、一腿の中心性網線表ですが、

そこで限に良くない紫外線の像一 豫

法 つておかれるのもよいでせら いのですから、これは智能的つて野選を浴かした水)につければよ いふ場合にはアルカリ液(普通の酢を選して次にその薬を落さうと 居られる脈鏡に削目の腕あたり塗 から殆ど記もつき ません。で目 かしてしまへば相當壁いものです に磨るやらに、淡黄色のドロドロ したものですが、一たん途つて乾 ると物がゆがんで見えまずから平 つてもよし、戦はかけてみない方 **るものベークライトバーニアシユ** もよし)へ累外線を完全にさへぎ (三共) を筆で塗るとよいのです かまひませんかたとムラにな

(32)

輕視されてゐる 汗(の(衛)生 开は腐敗する

などと共に人間の身置にとって大いものがあつて、肺臓、腎臓、腹膜、腎臓、腹 體温の期間をするためで、暑くな 一切な既此作用を答みます、趣汁は 盛んにし、必要以上の問題を放散 ると皮膚の爬質が膨脹して分泌を させるのです、鰡のあるときアス

> 敗するためです、婦人はよくヘア 出て来るのでなく分泌した形が酸これから彩い腋臭は臭いものが

は食べられない。

た部があつた。が、人間の鵬焼きと、籐か、横合ひから日を出し

もして、食べますか……」

トニックのやらな臭冠止めを頭の

用ひますが懸命の幽霞とし

||三班ペたいと思ひます **限視されてみる汗の衛生につ** 脳を臨んにし、體温を放散させて 職敗した汗は皮膚を刺媒する を下げさせるためです、左に等

ヒリンを服用するのは、汗腺の分

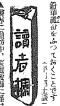
は現も角、にれはつまらぬ病気を

もので出来るだけ洗ふ

滑を出したまゝ眠つたりすると 盗汗を防ぐには

歴しを興へるばかりでなく皮膚を といふのがそれで、他人にいやな 汗は直で腐敗します『汗臭い』 松の宝きかラ

題くします、婦人にとつては自動しれると動類疾を侵されたり脚矢力 タル等に限ることになります、彼 抵抗力の弱い人等は直ぐに風邪を 等達を物のためです、これは一腿の皮 総代をかこます、これは一腿の皮 ひきます、これが度重なり繰返さ はこの盗行を防ぐには常によく試 飲んで御殿なさい、ある程度まで 腰る別にコップに一杯造い牛乳を 勢のひどい人とか、胸の弱い人は



乾 傘 雨

場合に開ききつて直接太陽の 雨にあたつた雨戦をほす

ふことそしてその後へ滑石粉か亞

得を揃へてしめ、漆の上を油でふ します、そして仕舞ふときには、

▲ 関塚に動務中、家庭教師に歴は 「瑪麗を申すさい。五種の投獄の 大 ― 四月時計を紛失の方は保管し 中に、此の十五人の総が選入つて あります (「川本町発化社」 ― 行く。長様であるから、目立たね パ ラソル夏稿子お忘れの方はお」 ― やうに茂をあけて呼吸の漁ふやう で下さし、(若草順塩) ― ◆ 条人下宮 こなして耐く 「馬鹿を用すまい。五原の長掛の | 膳一人背く者はなかつた。 兵庫が、

一誰だ、誰らん事を申すのは… 『呼吸が通はなかつたら、人間の

ない。英一城内において、御主君 島城内に於て、何事か起るに相違 鴨ったであらうな。 恐らくは・各 切腹或して相果でる。宜しいか? 門事もない時は、斯く申す兵庫が 上げる。萬一、黒田家にまみつて 這人つて行き、御主君を御守護申 鬼に角、此の七五名が長禄の中へ 方にて、明くに相違ござりませ 土産物として長持五年を仕立てす せぬでう、何れお殴りのせつ、先 安然守を房の供をして行く者は、 ぬ。何また名島へお名きになりま は、此の基にがては御既になりま 人能りを従へ飛物にて出かける。 航子長袴の支度にて、供の都七十 場に行くやらな聞ぎ、安慰守は鳥 してござりまする。 併し中の物 各々腰に兵糧を用懲し、まるで戦 した節、此の五樽の長禄は、御傍近 スルト、傳法寺兵団が、「本日、

サラダです

胡瓜に熱影をさつとかけて、白

お願さんも誰にる出來るお婆さんも

\$

家庭染色譜習會

林檎等少しつくあしらつて黄豆酢

間回の細にトマトーキャベタ

季◇節◇料◇理

キユーカンバー

は、御主者の御殿館までは手を騎 一概度く、されば、黒田家において く辞習くやう先方へお申附けに相 皮膚過尿花柳病









































湯本三四郎などは、互びに面見合一 せてゐたが、中でも岩閣文六は、 则将三强、指尾又六、長井大之進、 、蘇雄を以て聞えた黒川県太天スルと、安藤守の家臣のうちで 兵師も莞朗として、

代理の野口商會

5申しますると、 贈り墨田家への 「我々共が土産ものになって行く| し、それでは充分に注意致すやう K ば黒田家に如何なる家の動ありと

官兵衛李高の誕生祝ひとして名島 行く七十名ほどの都を呼出して、 と申含め、なほ、明日供をして

一らず日に致してはならぬ」 先方にて馳走を受けるとも、 先方にて、水一杯、自湯一 っなは、明日供をして参る話は、

「ヘエー人間の趣物とは、未だ館 て関かざること、先方では開焼に

一人強調人つて遊覧となって行く 「さらぢや、一棹の長禄の中に、

形のため皮膚を刺戯し種物や高を皮膚の抵抗力が強いため酸胶した

髪はよく洗べ

大島伯 **中** 江 Œ 鶴 美

守西哉して當城へ立民りまする」 ある時には長船を抛ち、御主君を と配悟の色を見せて答へた。

人間の進物

なりとも、之を破るに離ることな も、旦交、名島の城が如何に嚴重 『ウム、其方共十五名が決心致せ

過物となりまするか』

と訊れた。長輝は、

畵 演

つけます、これで立體的な二面色 ねれます、次に目・口・稲の周四 を指先で蘇の處々へ置いてから門 づ寒かな色味のオークル・マスタ 容法として經濟されてをります、 てアプラヒんで來ない特徴が夏の 粧が出來たのです。 ガーゼかタオルで輕く拭いてから 様な心持でノバしますと樂に均等 ・ドの王座二重色化粧は深みがあ ムバクトのカカオ色を押へる様 化,重** 粧;色* 合してありますから、 太つて、皮膚細胞に感激と治力を見へ若。 本実肌剤スキソ・ホルモン性ラセランと で配合した、ホームパクトとオークル・ 行性特殊自味剤を巧みに複合粒子に包ん はその制能は…これには過剰な皮脂だけ 似の困難な感質な日ヤケを起します。で この過剰な ●アプラじんで來ない流散な化粧が出來 影物を挑戦する作用の強い美肌烈をも配 化粧を見にくシムラへがにしたり、回 スターを常用なさる事です。それに基 総和に吸收部節する微妙な作用のある 大きな形がと信仰とを頂いてをります 地肌を動力ある君肌にする野女性定 皮",脂" . は A. 配 い無の類比に他 合 劑味白殊特性活

難コムラ病院

人院隨意 脂素

本純主鰕金鉾総琳選手賦大館周及「優勝順を伴った頼州デーム文化明集選大館で優勝した新菱が西東の「運建設師組がいよ」(梁もの関境とは、「代献として十日新美活館が現の本館、歌組は、「紫砂の都合により大、大宮に田坦することに決定した館に出場不能となり、師チームと「宮辺は同チーム」

器い題には何んと云つても現代な エクランに 高級々登場でいる。

禁事が (単)

制限時間各八時間) -<u>r</u> =0,

マンドリン

日午後八時から所は解中勝時で第 1ドしてゐる、演奏曲目は日午後八時から所は解中勝時で第 1ドしてゐる、演奏曲目は十三回演奏額を明侃する演奏整版 2、ボレロ 世紀の此川を選びお目見得するが、ロ、アラビア基社担曲 で多くのファンを持つ研験や囲は、イ・線網と観受 イ・線網と観受

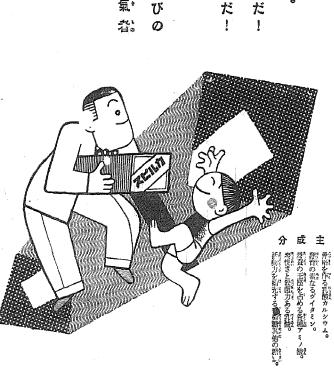
編 田 政 表

分に働らかせ得るであらう

庭球選手權國境代表

九日午後八時府民館で

カルピスだ カルピスだ 大嵩



店等。店裡。店品料金。店賃百額金 所實版



で際たれたよけ否それよりも一・似るべきではない、全官域軍よってはない、全官域軍よ 質すべきではあつたが八回戦に平質の朴投手の好投はもとより

顧々製作さる

まづパ社の丘の一本松

組

砂の

闒

夜間の動のは頂にわるい、朝

で立てなほせ

FONO SALMON

富兴館

Ø

虫液

8

覇業を完成せよ

力・貫禄ともに十分

期待深し全京城軍

の最も好んで狙ぶ右旗越安打が公が光つてゐる、淡眼、光武も戯し

・ 注意子外オールスター

極所映画社提供 監督脚江大生・ 層門光三郎・原駒 お江戸日本橋

名、荒川デブ北一周過景金魚重の即等でせら一夕の東でせら一夕の東の即容はキッ

6

京姓本町二・館本③一三八



株式會社北洋 陷會 魯漁業株式會社

交換額は新記録 界好調を反映 鞴移出入何れる最高の記錄 は昭和七年を凌駕 財界成行を重祁 斡旋品目決まる 産契の共購 日産から 田田 (100 年 100 年 っと云ふ事で 大地野大阪行 200 日 200 北鲜東京行 京川行 (東市大部) (日本 東市大部) (日本 東市大和) (日本 東市大和) (日本 東市大和) (日本 東市大和) (日本 東市大和) (日本 東市大和) (日本 東西大和) (日本 京城東天門通り起

「大変には、2 本島四 一九五帝

近山文田、大田田田 (大変には、2 本島四 一九五帝

近山文田、大田田田 (大変には、2 本島四 一九五帝

近山文田、大田田田 (大変には、2 本島四 一九五帝

近山文田、大田田田 (大変には、2 本島四 一九五帝

近山代理は、2 本島四 一九五帝

東端(2 本島四 一五五帝

東島(2 本島四 一五五帝

東島(2 本島四 一五五 東京行 福門一名古里一清水東京行 福岡新港 四大阪商船與出帆 建氯甲基 門司基礎頂行 內衛巡路體 金が 大阪部舶株式資本 一川代理に株式資本 慶 田 組織 株式資本 慶 田 組織 (温荷) 電話 一十八四番 (温荷) 電話 一十八番 (電源)



於て城法由より司法國軍の説明一る上において必要であり之には異

行はれ、これに関して各職がは)

離ない所であるから、司法以資業

々題内容

金郎園東として取上げるには近一が一致してゐるやうである散明を離取したが、跳時がこれ。といふことに大多數の翻訳

より文科官既に働い言を明き間

文部省態度動かず

義務教育延長

記書に励する協議のため来っ

アーとして別届し、上当代表、、二名かオヴザーヴ・上当代表、、二名かオヴザーヴ・

左の項目を「端として活躍するこ」「卓縁(及び入る簡単化原連線)とになった
【イ】連環連線取る構造に関する
「ロ】連環連線取る構造に関する
「ロ】連環連線取る構造に関する
「ロ】連環連線取る構造に関する

外に出しても何人も 首肯し得るものを 嚴外に出しても何人も 首門 提案を求めたのであるから 閣議に提程の閣は 庶政一新國策を 樹立するため各現内閣は 庶政一新國策を 樹立するため各に響きれる信仰である出土の際にはいて永田郡田もの

ける林法相の

名の収達を光供問題とすべきで「平生文記より競称教育年記述技をあると云・芸見があるがこれは 規出したる上はあらゆる機能に各 日全般の変質収養をかろんする 方面の年記述長端に関する歌値を 日全般の変質収養をかろんする 119 -

れた北部和楽調企館の軍事扶助事第二 楽の整理協力方策に関する委員的

公玩城建設に伴ひ

する府豫等

要求總額千三.四百萬圓見當

豊による処割経理の實施、海後 川崎県工事等に教予する、一方 近水の流送整置等に約井萬圓、 野本施設の行物行温間の設定、 野本施設の行物行温間の設定、 野本施設の行物行温間の設定、 野本施設の行物に間での設定、 野本施設の行物に間での設定、 野本施設の行物に間での設定、 野本施設の行物に関係の対象。

配通の協調を計り大京は

解満兩上關係は

緊密度を加

おいて決定を見たる軍事扶助事業 深めることに努めこれが實現を期

公益は人の配着施設を助成する は我が前脚部にも公置が満古し、非敏能離の配面傾向に明小し非り将来でルサイユ傾向処理をの全層理すると共に公共開墾文社 は我が前脚部にも公置が満古し、非敏能離の配面は対づここの歌歌、 後庭物の歌歌園との傾向節に第一 その他の事項中軍再扶助を 【泉京県馬」モントルー湾語にお「定につき無條帜に拘束せられるが、瀬竜したが今回の降行が一湾庭第一 その他の事項中軍再扶助を 【泉京県馬」モントルー湾語にお「定につき無條帜に拘束せられるが、瀬竜したが今回の降行が一湾庭第一 その他の事項中軍再扶助を 【泉京県馬」モントルー湾語にお「定につき無條帜に拘束せられるが、瀬竜したが今回の降行が一湾庭第一 くんぎょう たので月下候。近を加へてあるがは「壁間緩霽自の立路を保持し群る事」の問題の前例ともなるものであり

南洋拓殖會社

株式育社要項前に同盟社に對すると、
は東京位置、南連回報で、
「東京位置」
「東京位置」
南連回報の「東京位置」
「東京位置」
「

國歌府は湖洲軍艦勢越以来外しく 陸近月壁ましきものがあるので帝 節地位は既に富められ四川省を中軍治下にある四川省城成都の国際

成都總領事館

佐藤大使に訓記す

聯盟の干渉攻撃

非磁點腫 郷を新 様的 に明ふし非 り 解来ベルサイニ傾的医証子の如き条には絶対反対でこの職職、 後庭初の職業圏との検的締結で

ネヴアよりの窟途哭如ベルリンに

光 宝石

·資本金二百五十萬圓, 百十二 「東京芸芸」朝鮮電力関戦では 南鮮水力合併

る原告文字の描述行機構帯によ

して大都市上空一版出土色を迎む

北支端洲を

▲バリ市経令によっ くなつた▲バリゼ

一年方ヤードに一年方ヤードに

五千四郎込み)電力層域の五二 日満アルミ

を要し▲その料金 家でも歴史三丁宝 までも歴史三丁宝

のである▲モニ

オー、ケー、パ

になつてをり▲

通船大臣は我屬天人、平井出器物 露道附局技を访問、午後三時半起 では、東京學官・工物が育ら六名(脳師の遊ごつく語であるが、李奕を賦行七日子教に明甘か「の字文」胤師大田は通牒を通じて中中左のでしまって 1 4 ℃

李交通部上

新版算術士にはの一成法かくることに

勢をあげる遞信從業員

十餘名参樂『慰将師上益金縁入れ反對』從楽取代表者聲

英埃軍事協
・
急ぐ

省法律が門を資ベッケト氏は六日「際定の文群作職を急いである「カイロ六日同盟」イギリス外務「はエチブト職所と抗闘、光づ軍事

・ (名通) ・ (名通) ・ (名通) ・ (名通) ・ (2 通 和 無限 東京電池 朝鮮語質析道部落官 明 佐伯 顕 同 松本 伊藏 野湾流流 (各通) 海軍下土富へン、大日を復十五 込みがあり且下 る、即ち関連整 水力組織により はんとするもの。 行許を提供して 因果哪 按摩划 號

於て明朝、勝頭イギリス代表スター

【モントルー六日同盟】 海峡條款

⑥幽靈見世物の小屋で死んだ男の死んて浮ばれぬ若い娘の戀心の靈の中でゲタ~~と哄笑する娘 とした話 福製物の おく聴影 (側壁) 城 昌幸 (鰡子の) 奥村 五十嵐 つの悪路 楠瀬正澄

珍文木納凉船

+

夕刊後の市况

七二四六

(4) 夏の女・お目見得泥棒現る……(3) 夏の陰・三行廣告に釣られる……(3) 夏の陰・選暑地の僞大學生……(5) 夏の陰・女箱師に騙される……

浪曲界公 手の魔 3 氣者必話

・ 世川総督は ア川総督は

(人間部) 放牛舎採林 (鉄脚) 籔原檢校 籔原檢 校 赋外 ●銀帯戦道・電影が戦力の犯罪 ◆定價三十錢 : 海崎 ● 東京日本 博文館 ● 本語三年 博文館

造羊毛の悩み

ステ・フアイの生産十倍

東洋レーヨン 不詳 理京 人組 不詳 四三・五

て、生産館配管事者としての個々たな、所うした歌曲の歌にあつ

を知と月重額とが同じ位になるか

見れば、武を以て興りたる文明は は實に文武南道の得華の設峰せら て護へてみる。そしてその疑惑時 東西の歴史の題るところに從る 文明は武を以て與り、文を以

既が生まれること 早くも深寡の有利から新悲に聴身(ル・ファイバー戦)も錯く、新観人錯離戯のなかには、ル・ファイバー戦)も錯く、新観人錯離戯のなかには、 ブル・ファイバーに織出したもの

ものもある、現在のスア・ファイ し、若くは酵母しようとして居る

百六十萬封鹿に比し著しき通殿で「脱郷はないが、若しも加深陀の基封度に當つて居り昨年中の年産六「膨戦の應度を取つて鵬らぬならば四離で月産にすると戦四百八十萬一洲に於然として何處までも日本に即ち六月末城祗寮郡は、日産七十一は、落洲の今後の應度である、斎

ある、本年末頃には、昨年中の年

不田本約數 日東 的 徵 日本人造緩離 日本人造緩離 日本人造緩離 日本人造緩離

祖院の協力作業である。

はまた新たなる力としての武によ

瑜伽教の

日向地方の馬と並びて、内地の名能登場は、南北島や三春馬、陰野、産地の百姓に生れた。私の郷里の

で軍馬に徴収せらるるを愛馬家は の錐配が相當もて難され、明二歳トを知つた。その近洋配や、洋脈 のときからイタニーやサラブレッ

置いたがけて素徴と中空に概たはつてある神ならぬ痕類は識を御覧業」の一つです、市で置つた一本の概切れの上に、片手をちょつと

何なる學術的論據ありや

子郷の目ざめ 黄海道を突つ走る

あり、胡椒あり、仁川あり、平郷 工業が著しく與りつゝあること問 一眠から壁めて、各地企業家の認識 が高まり、散館の心が燃え、資産

に確認すべき可能性があるのに、

九百十九萬條國を終するに至 である。この中、第二 新製製 だけで転載、複数、推映である。この中、第二 新製製 に上つってゐ。この外職 道 百六十五回「韓激、推映でもつ 一部 (4世として小梁的) 百十 一部 (4世との) 百十 一部 (4世を) 日本 (4世

思想が乏しく、常に祝酉その他の の及人を占むる職家は一般に經濟

ら始まり、都質人の目がめが交通

であるとを知らればならぬ。努力 既々ないものと知るべきであ

一設置」の名を精りて、特許第一 無政一新の彼に乗つてとでもい 開係以来その國際開催は急迫し ▲朝鮮の牛馬敷(農林局統計)

四 ▲內地の牛島頭敷 (風林省線計)
大正二年 1 至子町 1 三条子町 1 三条

の立場、東亜全局の平和のため、

馬産地である。 叉が愛馬家で子供 | れなければならない。 関策の遠行 でなられといつてその復活を散想し、なかやうなこととならば、新詰めスティがは江盛を受けなければ、大子イがは江盛を受けなければ、大子のないのでは、新造めスティックでは、大子のでは、大子のでは、大子のでは、 の問題は到養糖化からである、若の問題は自られて居るもの、経常り と 関節観點から医認し、 限料関策の の る。産馬県動の緊急なる情勢にあ の上にも、直用の影響は急がであ て、その準備をして居るならばま 用馬の部分は、だん(一部少せら のとき被遏忍候林局長さんの読か 私自信も相當延問があつた。しか として、その事務を取扱ふた際、 腱馬を許すは、馬の値を高む することとなる。しかり馬の庭は

れば直ちに右容器を御送り致します

販賣店にて品切の節は大リデナル香水 小瓶(定價五十錢)空筒壹個と三錢切手 一枚封入の上左記宛御送り下さ

即時進星致します

恐れ入つた發明

被労を心るには

な氣分の

ナル香水に

限ります!

着さと

に得つべきであるか、従来わが

汗ばむ夏の體臭を消す

ナル香水の一滴は

一社交に絶對必要です

大学がある水小沼一個お買上げの方へ

| 來る實用新案 | 香り容器 | をにしかも經濟的に御使用の| 温を利用して其比類なき芳香を

御試用下さい

升毒に對する 血清法の 意義

機の危険率

本 舖 東京市日本橋區水天宮前 質物大質物大 堂

因に移動先に當てるため坪三銭の

現地跳踏を行った上なに成出を

他を当班とする記喩班を組織

借助料で開放を整明した金融甲氏。即に一段の經過をもつて伊心

加成的語に脚原地方信任

に適進すべく換意してゐるが、信

他に及ふ今日、なに半敗は立退か

慰中鐵道

質現期は

十五年存り

| 万十七日を経過すること既に五

野芸を得たずして既に百数十戸の 間を堆肥ディとし各種期間カレー

脚はその後順調に進び上、強調・も二十五日から二十七日まで三日戦争] 河川戦地上の工作・郡石 支均衡を則するため七八相号同れ

聴かわものに鐵槌

正認を定了したが、強い対象がある。 堆肥製造 シ豚に残めるとにな

た、當局では貸付を許すか、吸は一難い情勢を示してある

川敷地に

だ牛敷頑張る 愈よ説諭班を組織

代表者数名は四日郡に出頭し

は既校林の貸付を期出ることとなる利用主の負擔として施行するもの 者は急機関級の結果、有道有秋交」あるが、右欧栗地帯院定による紫圏の高値を貼へるに至つたの繁業。捻出方法については色で考究中で **育林二萬四干炉學校林一萬四干坤**は肌る注目を惹いてゐる、**たほ都**

歌樂地帶約八萬坪の内には道。で今や右に對する關係質局の態度

いあり、その他は民有地で右指定一計第一版の版制級から右歐楽地帯

に至る四百五十米の道路施設災の

して顔色なからしめたが、指定さしては思惑連の策略も嫌悪されるの

とるであらうとも個へられ、かく

|知留を集闘せしめるいはゆる歌

る皆局の部向は貸付に作よ事務繁 決定してゐないが、道有林に動す 離を避けるため、一括公費の途を

脚帯の指定を電光石火的に即日

羅津」去る甘九日都附地域指定「公入札によつて挑下げるかをまだ」とみてをり私観とすれば結局野日

選氏の投資に待つ外あるまいとさ

弱つた羅津の料理屋營業者

官有地拂下平出願

台館を開催した、威雷城在の選生

地價鰻上

題意識語に沿層關係技術資を指集

咸南の莚檢査

して本年度から腹流する遊校直規

武波と同時に民有地は一點平二十

萬二十物でこれが精盟され保税工具(朝石僧社)から移出さ

で元山街の発街は脚端でなくなるといってある人もある種でに全鮮第一位を占むることになる,かうなると現石の開稅金の"位の仁川の三百八十萬國を突候すること二十條英國、正第一位の仁川の三百八十萬國を突候すること二十條英國、正

事領社の連摺船東亞丸(一三、五三一頓)は日下朝石様 た時より一脳の異態を放つてゐるが今回の個人限曲は一

感度追踪が建てられるといふ観察さで毎月一回宛軸人するとその鵬在部は強く勿れ十八萬條團により、たての一回

樂地帶の民有地

朝鮮石油工場のお蔭で

元山稅關の收入全鮮

のであるからこの例石工場一つが出来ただけで五山税間の收 税年収入額百八十萬國を加へれば約四百萬國近くに上り金郎 入は年間二百十六萬條圓を増するとになり、それに従来の關

の原油輸入で

「威興」威南岳地帯明金に顕して

甲山、豊山 試驗地設置

關稅各部で綜合的實行系の「を設証し標品一千二百米以上の高」

【威夷】両山縣産業監督の第七回

四の自給自足を明る像定である

郡南面普校

んとする案である

岡山縣特產

前津の築港

所で春編の共同財政を行ふが共取 【汝山】文山射便所の王念宗記章 ら廿五日まで城津並に龍台の二ケ **→養兄宮** 一個に決定、近く雪波をける。 一番に決定、近く雪波をける。 一番に決定、近く雪波をける。

汶山の急設電話

の個人試験を受けさせるのに年間「登風で緩退的戦に對し最単につい」通り

開城局の小包 さすがは豪都

された公文群協選事性は六日咸典 【開掘】六月中頭便局で取扱った

は十三日 田である、この中ですが藝部だけ、輪和三郎氏は七日午後三時退五新 の外に映画駅で開催であれました。 山着、守廊縣と観合演習を行かは、百十五回は観想その他の品製であ、に下山、開地で事務計劃さまれて、の外に映画駅で開発では近光路で 山着、守廊縣と観合演習を行かは、百十五回は観想その他の品製であ、に下山、開地で事務計劃さまれて、の外に映画駅と開発では近光路で 山着、守廊縣と観合演習を行かは、百十五回は観想その他の品製であ、に下山、開地で事務計劃さまれて、の外に映画駅と観光観光では近光路で 山着、守廊縣と観合演習を行かは、百十五回は観想その他の品製であ、に下山、開地で事務計劃さまれて、の外に映画駅と観光観光では近光路で

完

IJ

ク

7

日午後五時から約三十分間守備隊、る、右小包の主なる適出先は次の「九日午前九時資元の割

相當の大群が回游し來り

・ 朝荒天の際は適船の繋ぎを困難 ならしむるの外通知及が京園の ・ 被撃却しきを以て一層これが選 が要準に学よ地元資籍令度定額 「意義性に学よ地元資籍令度定額 「直襲時二、高五十回は旺、高速 して、1000年間であります。 「本のでは、1000年間であります。」 「本のでは、1000年間であります。」 「本のでは、1000年間であります。」 「本のでは、1000年間であります。」 「本のでは、1000年間であります。」 「本のでは、1000年間であります。」

| 「城里」郡局曾では来る士三日か | め當今の如き平常時に於ても一 欧ケ | 大八口 | 「収置」 | 本五年面製造 | 大八口 | 「収置」 | 本五年面製造 | 東京都 | 大八口 | 「収置」 | 本五年面製造 | 東京都 |

守備隊減員に伴

妻河水、韓城水、李昌鼓の四氏が 開除の憂目をみてゐた財津漁港の 五年間世界に計上されながら採年 外年に實現 期成會の努力酬いられ

御内郡南面が通影校を含は同面通川」今年四月散立を設可され

程工し五日午前十一時から間

混谷洞に新築中のところこ

引嗣き漁獲中であるし來り一隻五十丁宛の水揚をみ

待機の漁船總出動

羅津田會

府昇格の

青年警官冊名を國境に増配

たう一 緊急当會は四日正午期曾、出職をす五一 要に關する都守路問案を附記するが設一行に決定した羅維色の行政區域観

旱魃の上に

行に決定した羅地呂の行城所職態(羅津)本秋十月一日から府邸施

ちに秘密館に入つたが暦年級の程の人名、田口呂長職長職につき直

制、生産原動の方法等に関する打製かられる説明たる青年整般官三定を中心とし優重質風、生産品統一策として成道断察部では平地帯各 器から元と説明たる青年政策官三 したが収る九月には更に大七十名十名を飛抜して附近第一線に増配 「威獎」量に守備隊減長の勝急對 と「脚に甲末間減となってある路」公立警邏段校院に伸行は船 総込であるが、上便に下名の大陆。大 は、s 九月には更に増員

在所能とすれば信含その他の簡諧

産敗は八十八萬八千枚であるがこ れに濃厚な指導物配を加へて五年 | の間時対談が、は、認緒の整備部、の時刊は且下のところ会が記書がれに濃厚な指導物配を加へて五年 | の間時対談が、は、認緒の整備部、の時刊は且下のところ会が記書が、 乗した二女爲根に新上公二五年生

成與一元定平個歸來面長翰泰容

懲役一年求刑

以上の如き待機の姿勢にある近極

干がの敷地で虚よ十日起丁式を破

[上青] 待望の道立時院は西里岩

上競

十日逃工式

道立北靑醫院

六年、工製四萬間で竣工は十月下

戶籍傷造

には本年三月同地公司四年を略

日魚の煮汁か

南浦の水飢饉異景

| 五居住民だけでも二、三百に達し (窓峡は(上)ずらり地チケででんである、小窓連動場附 道を上つてゆく数は縮々し

連川の泥棒

|歌方に殴人、現金三十個と金指輪||鮮四名、デフテリア| |【連川】六日午前||時間高邑麦興||日の如きは赤明五名を 一時間で御用

料とする唯個製置試験中のところ の理完全に高級隣回の製出に成 咸興】本年班咸南の原手事景に した、深葉的にも随る有利であ 細羊事 業に

躍も生する臓器の煮汁を利用すべ く製造像主任の宇野 | 筆は之を版 洋鉛版で略を一足流んだことも自順記の物器の外限を示う単語世界 不定前科一犯前時後("三を判明、 增築 落成式 形形所 ねて増築中 開張しか

不服の歌年を鑑成支票(たとこと) 評価等を即航、終つ工順武員で最近職的り、減川器で収入密室中に剪四 を納行、開時に助野職を実際高いあり、減川器で収入密室中に剪四 を納行、開時に助野器を支配部にあり、減川器で収入密室中に剪四 を納行、開時に助野器を支配部で展行連を開きる原式 【「鷺」 野髪部長鹿部も終ったし 署長級の補充異員も一段語ついた 秋に延ず署長會議は

日魚の味料干製道に際し年に二千ンピット……咸州水産映紅塩では

【蔵典】厳層水産製掘場のクリー

咸南水産試驗塲の宇野技手

を逃

見事研究に成功

年間では四日年前七時から馬込岡村 著行軍(延吉)駒防衛

道立病院も大入り満員の有様 する赤痢 傳染病に戦く平壌

32、てきに転載をよっひ去る世儿 厳保せしめたが、以来「日平均四 喚起してある、な任乎勝道正確院「年輩」 筋内の概染層に跳り揃を 古合計十二名の思考を出し形成を 防疫に 務める一方形成に 注意を 「節~平断器は歌起となってこれが一ない数はよりを見せてある 五名の赤剛患者を出してゐるのでの際染質能は趙萧氏となり有缺く駅深せしめたが、以來一日平均四、喚起してゐる、な任年閣道正實院

元山署長送迎

縠 脫

機

元山局の座談會
にかり重な人々を高に掛待
にを際に形り重な人々を高に掛待
して照談館を明る記記郵便記官野の重な人々を高に掛待
して照談館を明る記記郵便記官等
のが、たが祖直に受する
ところがく有談戒な館合であった
ところがく有談戒な館合であった

巕

產製量多

い、この意味から當分は人事のは、事情のない殴り初秋の候にした。事情のない殴り初秋の候にした。 Ž

により原用の収息観光を聞る農家一の水泳器習者を開ってより原用の収息観光を聞る農家一の水泳器習者を開 【厳典】大日本腔酔が脳家の形局 **酢酸粉腺長は語つてゐる** 全校生徒百八名四日から三日間

機摺物式導傳無

農家組合を表彰

瞑虫が發生 農民は『泣面に 蜂

を品秀優

誇

は独き面に鰯の態である、六日蝦の地の地のである、六日蝦のはな関連が終年して膨敗がある。 在が内面の被性面積だけで大干炸

3

クフ

一味大の機様である

モヒを密買

題人指討立の某支那人から騒眩モ に送してをり那内全體では相當に ・キ六十瓦を買ひ受け自宅で計 は去る五月六日京城南大門外 米▲平泳二百米、 間島の講習

機動競響リ

最

左る四日調金百個に避せられた

プンポ 巻 渦リクフ

新

日夜料亭來多稲に榮轉した市品 日左の如き検抄た恩田宗五郎氏た恩田宗五郎氏遊鶩派署長から近鷺子 いる、宜しく御

> 贈店 募 星集

のいます。「成典」 型特 紨 蜂贩

神戸市林田眞千歲町四丁目一番地 日本農機製造株式會社

振替口座大阪七三七〇六番

で胸手に出し六百四回頭形の増加 特無地段として概念まればれ是

琴湖江の 峨洋橋

佐何如米八手七百五十歳の移人

ŝ

迎つて具體深が作製されるはずで

質量加、既に米信節による防

神戦の機器に関し意談を選げたがには充分持ち得るものと保証され 長郷路路、約二時間に亘つて静心れによつて旺往の大洪水記歌速度 一断内で松本内務部長、坂本地方識のであるが、案外結果はよく、こ

人謂如糸、綠鄉等

【大甲】闕政約五萬國を以つて昨一

総し本年に入つて井戸二萬八干四一版し起と明秋七十萬國を投ずる明

機脚工事竣工

異似生主任は特に断生の施設に留 | 学術が増加するので断旧者長、

【水原】毎年暑気の加はるにつれ

上々の成績

水原の衛生

七二、六六五、五回七

九七八三九、三五、

太郎神社 造严總八會

角南氏の水館により各地とも能水 いて協議、過転内が省甲は間接師 後御遺營に闘する今後の方武に 地方側長から大量の説明があった 府から竹本内が総長に出版・周見 社人物所で臨時が任場代自出に、 【大郎】六日午前一時から大郎神

は今後一段と寄附金原郷に努力し

大邱に觀光協會 J・T・Bの新設を機會に 府民間で質現運動 には担當の迂膝曲折は党れまいと一きはものく二日も経たずに費れて

【大郎】既報、収る九月十五日か | なつて二年載しの製造しなつておしていかとも取り込されてあるら三甲弁支腕にワーリストピュー | る鉄光協議の総立を製物させるこ | ではないかとも取り込されてある。同 | ではないかとも取り込されてある。同 | ではないかとも取り込されてある。同 | ではないかとも取り込されてある。同 | ではないかとも取り込されてある。同 | ではないかとも取り込されてある。と質化を実む繋が供給値まって来した報告の

釜山貿易の飛躍

海外へ海外へと押し出し

去月年同期より二千七百萬圓も増加

佐賀米移入は特異の現象

内容充質をはかる一方法として数一百七十五ヶ所、便所一九千九百條 母指導の武進を構て來る廿一日か | 園の收香新設を行った、なほ各種

と質症を思む壁が使器高まつて来 市をもつて貯る大郎にかいる常設」も二百度明治したが、内地方面へ 見られてゐるが、一方師內四大都一了つたほどの素明らしさ、三日朝 機闘のないことは甚だ面白くない

人名を呼び主义妥野の有機である の中で帰党品として早くも登異的 脱党と家屋が微い状況は新設成だ「清州」思北近本年度第一期分片 忠北の徴税 完納に近い

にその成績は耐目されてゐたが

烏鷺相搏つ熱戦

底せしめる語 程注意し一般。官僚する▲十一十日(官僚日) 爆発病に罹られ

光に晒す▲十二日(衛生施設財 路の河通市街楽化を計っ下水端等を増減し衣類機具を日 日)▲十六日(市街楽化 日(清潔及才推日) 家屋の内外 を服用▲十五日(衛生選

三等者木 (同) 四等

第一回の中鮮園碁大會

豫想外の大盛况

【水原】本社支局主無第一回中鮮

師の法語を簡関する言 四日午後日時中知恩寺で「山秀山 一回修養調話意を聞くことへいり って組織する聯合制権合でに従っ 【釜山】町内の磐通學校で成をも 先生の法話に関 策として左の通りサービスプラン 環として左の通りサービスブラン けた金生徒を今度は八月五日江華 笠山郷直事務所では『遊器谷の駅』、 長長は水焼調碗にスツカリ割汁づ 「重山」 海の鶫しい夏ともなつて 「いものを認じさせられるが、伊藤 を樹て、七月十日から八月一杯ま で汽車館の大圏引きを行ひ海への一

安養プール開き

四人 独修 推導力を含む。一人 勢は は十一日午後 一時から同プール 永天 に従ったので応じ 前英の 保護に称 宮で宮殿 有恵を敷を協善してアーカた、水殿工順八に情い、全局を一ル明き 「永登浦」安澄ブール解し前では | 本原理を対している機定 | 本原理を定いる機定 | 本のではは大阪財界のためにも借り、日まで(同) ▲同第一直投 | 十一次 | 内の登り | 五同 | 上下日から卅一日まで(同) | 本原の平原株氏 | 本原子原子 | 本原子原子 | 本原子原子 | 本原子 |

平澤、鳥山等からも参加者があり 一郎作大館は五日午町九時から北海 定別制既に四十郎名に達した。何 配有難正面(平濃)張(水服)のく一大酢瓶が販問された、當日の れも優勝の築冠塔谷を目指し破断 無益質は博上で明治、迎く開州、 四人接段勝当六名を出し大統は既 爾氏は脆くも敗北、滑不氏は中盤 を盛して妙手連起、心筋の流温度 一時に観勢を領回、午後四時には

増産第二一割五分

悠々目標を突破

15額は今春以来輸移出の不振か

釜山の教員 指導講習會

【菱山】 毎山町上宝期の『杉田入】 等を曜立することに申合はせた

はその總計二七、大六七、四〇 見立ちこれに反し移入増加が注目

間の根加となり撤退の一途を辿

【筆山 府内の私股際部所は二十

報山街の質婦の則途を祝福して

機師と提携して普通教育の普及に スー、赤柳二、附五十七名で即年 妓、妓生寺の協範も殿園に行はれ 度に比し三分の一である、又翻婚 ころるので三十六名中一名の保護

安東產麻布 需要別で躍る

元により珪原はいば食品、洗面品

動で前年に比した萬国の増加で も印度、指洋方面は向けがに出

昇格を前に關係者許定

ちかく具體案決定

四着良好で、綿織物は季節的別別 示せば輸出では乾眼は全角物の る、何は六月中の貿易派の概況

> 心した所型が常局では仏殿語音の一

積極的に乗り出す事になった

問題をあげてゐるので、こゝに看 二ヶ所で約三千名の生徒を収容し

萬丈の気を吐いてゐるが、愈よ麻 の販路を有し道内生産品のために内は勿顧、内地各方面にまで個別 ところから隠北安里産の麻布は鮮 【大町】品質の飛び扱けて侵良な

工を動館に属けられた五十反の如一十六、出貨を踏々と突破、この金額 布の季節となつて数月前壁前の四一十八萬一十二百六貫で摩池目標の

五日で大概終了したが、総数量三一年の三十周五十四百七十四段に比「大印」登録の共版出題りは去る「百二十二周七十二百六十六回、即

米の移出が旺盛で前年より五正六

工除石の増、この外生糸、肥料、 た、又移出では何といつても鮮 発向月より四萬餘風の増加を **郷于等大組人荷あり、ボルネオの** 大は副洲産業、緑豆、河口産品 る、その他活品中の主なものは 明しその他顕微器、変には細数交

白石、竹下の結氏は大日午町十時一郷すのみでほど魅工した、この橋

した結果この程石屋の石窟一部を

孫觀長、 高橋闘業院立寺出院上近一分として研究されつくあつたたもの観覧を訪問し府野からも上野内、 鼬類足し下事は朝鮮では珍しい試

置地に内足してゐるが、これと同一足して事は、雨率の増水期までに

部的コンクリート協助二米三七曜

時に現在の神城を撤扱したいと云」はと全馬力をかけて荘夜飛行勢力

ふので山川神山社業脈に氏子徳代

神社の國際批算格は愈よ来る八月

第山間成唯一の守護師たる配頭山、聖河江の龍洋橋長さ三百五十米の「金山」朝鮮成古の神仙として汉。年十一月から君工の大時東村街道

好説を反映し目促しきに顕を出げ

重加、支加廉布等人荷好調を示し

され 【字出】 甘風が民の潜船の物とな一路六十間単記窓の巻山大脚壁館間つた に職職・ことに決定、即郷の館 を即くって流観の順節を用いて服後館の開節をし一部、所では去る四日勝戦 具命化する一面、府蓄局では悪源 した に職果、 煮糖を託して開電館では、 びかけて輸助申請と続大腿の助力に た題果、 煮糖を託した。 即郷の館 を即くうに 本額となって変勝をすることに決定、 即郷の館 を印くうに 本額となって変勝をする。 これまで、 釜山博覧會 協賛會設けて準備 最後の懇談會開く し既に二刑五分の増産である、な 五、八八五届金城城 一九、三金城城 三、六四四贯金城城

で調整の方面では、10mmのでは、10m

總出廻量三十八萬貫 上 東 入 體 一般落

【河東】勝戦、河泉地方では去る ○○○質点計三八一、二〇六貫」し合う支配は上門上がように「二、九〇三貫点質暖命」七、「は緑に花開面が「質だしく同面では 地震の被害 河東は二千週 李潔養(このの親子が山に続く中、李潔養(この)の親子が山に続く中、

・ 1年1日 後山、草梁、後山鎮上 中・ 1年1日 後山、草梁、後山鎮上 中、 沙上間各郷、 原州、 第山 健 より三輪田 より三輪田

ら建國功労章を胎典された。 一川九年三月一日に至る間谓洲國の一氏(ここは昭和六月九月十八日から

大な布朗きを開催 不自由のないやらにして近く盛感じのいゝ建物とし、飲食物も

| 「大郎 | 監察者高等係動形師 | 日記

建國功勞章贈與

住很大人五五錢(小兒早前)▲松亭 验山、草梁、参山鍼(り

山の岩が轉げ着ちたので単版を質 趣で被害部は約一千九百回に返しひ、其他變國等、人家、三路の破

の保護は五日子後に置いたが被害した。四日早朝から稲有の漁銭が一ちそして

本の配衣塚を一棟可設 の配衣塚を一棟可設 の配衣塚を一棟可設

★ 安、郡北、坪村、班城、将州よ 本男山 三渡津、渔水、凸原、威 北所

寺から自動車で来尉李郡守。篠原諸等飛災の歸途五日午朝九時佛國諸事別の歸途五日午朝九時佛國

南より二

浪律、進水、昌原、上

原設が産局長(中) 選売品)は 賃美子未亡人 金丈、土方、安康より二州引

男學生も

館は世界で略設茶果會を組し羅水班一行は三日午前十八時半河東新

【河東】慶同用道實職與視於團人 **慶南道議河東視察**

河東の電話制當

境股割富ては二部であるが一部は 「河東」河東野便所の今年度沿話

色なし

エチオピア色に色あげされた女製 胱訓練を既日月尾島に行つてゐる ソと協力を練るため全权生徒の水【上川】仁川島女ではこの夏にウ 仁川高女の 猛暑征服策

本高橋新住和山麓経営技 九日午 市山時三十分出級著仕 本山口能管昌長 四日午後一時載 大阪、名古屋、東京方面へ出張 古居住に万名と

▲土師慶南知事病派和益中の處

前十時五十分者往

酷寒 が 祟り 海苔に全滅 住誰が海濱に欣舞する朗景に心強

葛真(上)總督京詞代謝の「苔を敷り出さりと努力したが昨年」だけに非観の繋が出つてある に衝却金を交射影響、に川名帳層、武嶽に眉舊反貴をした着もあった多種をなし、その役引館き権田丘、機は目下の腐郷実施され常年所の「全部設定 月配島 附近に海 寺の「全部しに川路戦に放ける連首学 三年記述で月尾島 附近に海 さの で全部して川道院に於ける海色を11川、1川所では去る七年から の多から今年にかけての階級観ぎ 沿岸の移植も経望

▲中谷路山や超管理者 同上 ▲李慶南遊遊 同上

東京・大阪

田 邊 商

店

▲柱崩山邑長 陳倩のため上城中 蟹鹽店

★給末朝迎大邱支店長 同上六日

大邱府議 上城中のところ 醴泉方面へ出張

日本月管御詩も申し上げたに今| 酒醤組合に富蔵

會葬者八千、事實上の道民葬

告別式

満場離として費なし

新くて日本赤十字立世代地山本 整都出長、各道市軍代数字忠南 道知郷、道宮護貞代安全院の副制 護長、道内他官公護國紀代教者 吉田光州地方法是长、光州府民 代教者移山附非の話氏が交々思 つて用詞を問題し続いて交々出 つて用詞を問題し続いて多方面 から寄せられた昨原を奏し

王申 の奉集、拝禮が遺族

仁川の新名物失敗

おいて盛大に執行された、この日 れた式組には

總督或務總歐、旅游大臣

しれよりさき、午後三時五十分。 表主 令島電元数が静存し

式は五日午後四時光州小學校庭に

企四位動四等工機常局氏の哲別われ等の良二千石、放全南道知

ついけ、朝鮮ホテルで職しく近い

【光州】在近一年有餘の間、登南

自公署及び艦艦摩式一局を代表し一 在りし日の故人を思いその 個を 明八て 西下の無事

が洩れ新たなる哀恋の説を読ふれば遺ぼ離、婦人際から嗚嗚の難

五零に落ち結局員山の田中氏が日に脱近原頭してある乳酸は組織後、一般けた水臓佐伯氏は狭緑にあれて、は原園されてある紫癜にあり、更

海へ海へ!

更一陳物した

避暑客誘致

災島党派の強行軍に / 男の単生 思のハイキング、七日京、仁南地 〇 4の快行事を夏のプログラムに 凝

各海水浴場も新装

釜鐵の大サービス

齒神頭 ロイマチス としてたいへん重賞がられます。と、効き目が早いのとで、家庭藥を、効き目が早いのとで、家庭藥 らし朗らかな氣分になりますムで速やかに痛みと凝りを散 のです、純白の清潔なクリー や腰が痛む、といふやうなと き、たゞ滕り込むだけてよい あることは閼知の事質ですが、一 後の疲勞解消に素晴らしい効力が スポーツ楽として若人だちが運動 肩が凝って、 經痛痛 癇 氣分が重い、 マッサージ 藥 脚門

もありませうが、また一頭には変略不足、食年頃の人のニキピには生理的に極々の事情 項固 な 丰 消菌作用と漂白力に富む **鯱黄コロイドの新美肌法** F. ビ痕の手當 部かして段階的郊館のあるものを繋び用ひながい悩みを履けなければなりませんからよく

物の関係或ひは不概等の気め汗臓が磨がれて 出來ることが多分にあります。 ですからニキビを除く気めには内部的に食 ても部然の結果でよいます。して來たのはその爲めで、これは醫學的に翻して來たのはその爲めで、これは醫學的に翻

ロード確衡保有の茂麗時が最近高階を博

然識。外出後には必ず総配に形蔵して埃や活ってれには適常の洗配が最も有効で、翻夕は 機につとめると共にお配は美しくといふより 化を計り、遊鹿の運動と充分の睡眠とを曇る も常に清潔にしておく事が大切です。

一路には既いショを形く難したり、同じこ

ヘッドといって尖端の影 ~と出てその古いも

ニキビは役から

然しこれも普通の過や水でゴシーへれを洗び去つておかねばなりません。 施つたのでは却て皮膚を荒し根

るときは、窓外手跡く細胞になりますといかコロイド原前除有の常観柄で突然と深観すの「出版・不されないものですが、こいニキビはなかく、除れないものですが、こ

たり能いシェでもその風力な政治化 から能いシェでもその風力な政治化の素が歌白されて概 いつかりこきと知から

い顔、つまり色の黒いかりでなく、色素の

て色の白いのは七壁かくすと 時至第 宮川みよ子

り こ大概等んであます。 向私に迎すって大概等んであます。 向私は運動 り こ大概等んであます。 向私は運動 くて既い頭でしたが、 レオンを便 は くて既い頭でしたが、 レオンを便

後に於ける吸 **収速度試驗**

というの飲用

まひました。異かぶと翻踏館一の心臓がなく大助かりです。

色黑を惱んだ私が 垢拔た美白の顔に

生 みますと、もつと早く繋がつけば 若しませんでしたが、今になつて ちれた時は私は皮肉に取べて取るの られた時は私は皮肉に取べて取る

壁であれ壁の脂肪性も又吹出物も ームを繋用する様になりましたお 昨年の野頃より朝社の洗匙グリ

日焦も消え色白に

立る性コロイド電流(単度特許) なる性コロイド電流(単度特許) 世級になつてゐるレオン洗鞭クリが使用の都度多量に配生する際な も自然に解消して見遠へる程色白酸パニキビ、ショ白酸網や小椒要き色黒の方でも離次に白くなり。 製態などは極めて容易に、生れつ

「レオン茂酸タリー」とは東京市田區の川町駅七」目代八京市町田區の川町駅七」目代八京市町田區の川町駅七」目代八京町、大阪全三貫四十銭(安料十四個市外町・大阪全三貫四十銭(安料・大阪全三貫四十銭(大阪全三貫四十銭)

毎月で見て繋でもつ様に取っる 毎月の人様に、なんとなく自分の 毎月で見て繋ってゐる様に取っる 郷かと思つた事もないました。 たいます。そがて専校を奉 上げないます。そがて専校を奉 上げないます。そがて専校を奉 上げないます。そがて専校を奉 上げないます。そがて専校を奉 上げないます。 い方を見ますと羨ましくて虹何ふ事を聞きますが、本常に色の

キビは痕跡なく

てゐる西性のコロイド病欲と皮質く成功されたのは此の中に含まれ

展が危寒が感覚とは実力させん。 展かれの歌歌も一旦コロイド氏感 をなりますと効力は散症となり、 になりますと効力は散症となり、 が酸によれば美感動状態を見る事 が動性によれば美感動状態を見る事 皮膚の毛孔、氣孔より脂肪中に自

の更を切に続する文第であります。

液状食品として製造者の最も苦 液狀食品と腐敗

各業者共、種々防暦の方法を考究 **脂屑の使用を取締つて居るのであ** 縮とする事は、「西記の蓋蓋期間に し、從づて監督官廳に於ても、防 「とりこの」は「プ

るいはいになって多りました事は、 の恢復食等として試用せら 組員。微妙#勞働疲勞 及せられ虚弱兒童及で育 1000。應用が盆~警 近時臨床醫學界にど 私共の光学成快とする時 兄。榮養或:潜航艇乖

てあります。更に大方諸賢 御武用と御指導とを切に

(語学) 飛頭クリームで、折

御順で早し上げます。

く新場を使用してをります。 でいまりますので、「どりこの」は古りますので、「どりこの」は古りますの。 しても全く安心の出來る醫食料品衞生取締上よりみま以上の如く。とりこの」は 療用榮奉料であります。 に利益いたしますが、化學的電影の用者 容器の回収は、需要でも製造場もお互

いいことのこの

から、こんな時には軍機動を互助する事 与の牛乳、一箇の雞眼位でも、質性で留には消化力が減退して居りまずから、五 が合理的であると思ひます。 動食を振らなければならない標な時

るどりこの地類はい現在 リックス』 語計で約六十七 リックス』 語計で約六十七 およります故、此高度の診育を許 しませんから、原液のまっておけば永く保存に堪ふる **一部家庭に於ても是非御抄は**

ります。「下現分析表側急間」ります。「下現分析表側を指する糖と果糖である情報と果糖である情報を果ませ、治 所各自に適勝する酵素の作用を受け、補 た念水炭素の内で、縦桁組及び多糖類は常素別の通り、食物として醤取せられ

第二食料品 制を図り口の

飲食物也人工着色

ことになって居りますが、人工著色は稀性若色科散総規則により、監管を受ける 設定物に人工者色を施すことは、有害 度の下陸によって、葡萄糖の一水和物と

狀態に出來て貼ります關係上、就しき直

黄色、其他澤麻の如き海物館から、圏館 して、飲料水に苺の赤色でプレモンーの 而しながら食料品界に於ては、依然と

子の無介語に至る迄、殆ど人工習色が施 全部以に之を加温いたしますと、此析出まれてをる事の立語となるのであります

完全なる消毒

気消器を施した事になるのに於て場詰となし、密栓のに於て場詰となし、密栓のに於て場詰となし、密栓のに対する。

液狀食品と容器 を脱びてをりますが、いかがなものでせ動食と云へは依然として聖清化性流動食たします。郭禄な次第でありますのに流 消化せられませんため、利用学が低減いなく、一方折角部形した発音を見たる。 一方折角摂取した築資物も完全に

プ等に 型態類製品の配合こそ 誠に合理

第四十名と旦己の

牛乳の分析成績 ツヒ氏によりますと

を表別してはいけません。

牛乳台の榮養價

準として、その荣養調を計算して見ます 今至度半乳一合を前記の分析成蹊を基

蛋白質 一六五・六瓦 英養償なし 歌 分 一六五・六瓦 英養償なし み哀く美味くする點に於ての築養價を倍加し、其上飲容積を殆ど増加せずに牛乳を積を光と増加せずに牛乳の 与六分)で一〇四・七カロリーとなり主 部築いたしますと、容積値か三〇年へ一 の楽芸館を「といいの」の分析結果よりの楽芸館を「といいの」 食の減立の一例を示して見 左に「と**Uこの**」流動 り揃ふものとして、

どりこの流動食の献立

液狀食品と溷濁 ではいたして

製造者の苦痛 方米に對し入○○カロリーを基理と二十四時間に率する所要基礎代謝賦二十四時間に率する所要基礎代謝賦五七四時間に率する所要基礎代謝賦五七總一個表面接一・四二平方米最 思者(男) 體重四十五瓩 身長

ブネル氏によりますと、全監察がの八九、八一カロリーでありますが、

る築着側は、二三〇・ 牛乳一合の有す

右の如く全良

●八いで一〇・二名は微味人でも利用せておれ氏によりますと、会楽報分の八九

られず常民中に接着せられてしませられ

寒の脈には製造時に放て溶液が程と飽和く翻滴を來十事はありません、具冬雅殿 濁の原因が腐敗を意味するからでありま して監督官艦に放ては、又之が取締を行 幸に「というの」は配後のまとでは全 (カロリー約五二三・五一四〇六・一)とりこの一五〇年・一一一七年 (カロリー約二)七四十二三四八)乳 (谷)(八)年)——二合

の利用では一一七・四カロリーとなるのよのでありますから、一合の牛乳の質器

であります。ですから開場を悪くしてを

想じてをりますの だる間に、硫酸

会場合學では、更に此利用率の低下はま

容積に限りある

胃からみた牛乳

前湯、スープ其他(約二九五カロリー) 即利六十瓦の劉明の那黄三節約五七瓦 (1100 · | カロリー)

能は三四郎に分形す。 能は三四郎に分形す。 三大カロリー

をれば、代謝の至齢を保ち、朦朧に増減
身長一五七種の健康人が細勤安静にして 富する食物の攝取は困難となるばかりで でありますが、疾病の際は所要結婚に相 右の献能によりますと、艦軍四十五旅 かりか、潜作品の単生からも亦良い事で気を一度に依む事は決して容易でないば この版が非能学的であるよ云はなければますが、容能に限りある質に對しては、 ては誠に牛乳は王禄結構な流動食であり はありません。ですから見機によりまし

いしの。まどの位 入れたら良い 一合の牛乳へど

発売年第一合(一八〇種)に「とりこを見べれますと、鬼を二五一三〇組(税度を理解となるだけ入れますと、見て二五一三〇組入れたけ入れますと、見て二五一三〇組入れたけ入れますと、鬼とはいるという。 趣さを異にした而も、牛乳を好まの人で味を持ち香味を奥へ、砂糖の甘味と全然 ら、喉にだても松陰の相違があります前萄糖と果糖でありますか

ります。「とりこの」を入れてから牛乳も飲む事が出来る程一種複様のものとな リこのへ

ますと、次の如くなるのであります。 人れた場合の利用カロリーを計算して見今一合の生物に「どりこの」三〇年を 約一一七・四カロリー八〇年(一合) この」の会有する總統量中のに・四五に添ぎませんから「ごりかに・四五に添ぎませんから「ごりかに・四五に添ぎませんから「ごりがに」の会談は第 %は單糖類であ なります。危

京都はなかかからないの

疾病時に何れが適應せるかはことに

りあに店品料食店藥・社會名合置王 髞 店理代總・部事商社談講會辯雄本日大 鳥界 元賣銀





岩平





赤酒

一部の方が合理所にと思いる解いては之に代よるになが用ひられてをります。 のに、依然として鹽酸リ、硝酸等の蘇酸の含有を、、飲料水配品中には智能

局速度滋養料 (宝成分) 葡萄糖・果糖・アミノ酸

高橋孝太郎先生發明

心學博士

仰ぎ建餘を其他の食素によっての所要熱量の約半分乃至この「エネルギー」源とし

て眞にお奨めすることが出牛乳染養價増進調味料としみ良く美味くする點に於て

專賣特許名





水道ない町 开户改良

ら層水管の角配工事に行きするが

A.遊詢では約四条間を投じ九月か と水道鍋は岩だ不十分なので肝

1月十一日(日曜日)

午前九時から

水町の及ばぬ地価に到しては衛生

行戦四級の機更による京城新府は

京城府で

手術保持者連に各地方性部デースにより行ふ半島延球中央、四道、北等・東等・西等・西等・西等・西等・西省・田南北中央、四道、北等・東等・西等・西等・西等・西等・西等・西省・田南北中央、四道、北等・大学・

觀節料

大人三十錢、學生二十錢

丸変ポール

選門に開業績続にチァスの銀體器 登し今年度はその半分の11百世に昨年は京選暦内を中心にした京富 までのチァス忠議六百八十九名に昨年は京選暦内を中心にした京富 までのチァス忠議六百八十九名に

昭和になって斉鶴の施設を聴取し」ある、その他輩礼総も昨年の百七たこれに對し訴医師を市く富昌は「百名内外にすぎないといる形態で たしく例年にない際染版りをみせ、名でその中京城町内の思考は僅か

主催京城日報

毎日申報

後援 朝鮮軟式庭球聯盟

京原財内各等官内は勿鑑直全版に ちんぱ然ゆるめられず、四月に入 他

た、配も常局の緊張は今年に入つ

十二名に耐し今年は百四名、その

け例の事から口配してある二人連れの男を網路製金運査が調べると 田所不定 網路 法ごとを言葉で

けふの天気

初のことであり明朗な話題を生む

で製鉄を強けることは今回がい るが、腹壁織虫と小星校長の配合

)教育方針の職立を治する匹であ

に肺し腹部なきかぶの交叉を行回起数性を呼ば、紫技体形その

ものと期待されてみる

大京城府民教育の

人間新かほかる

闘奏郎、各小母校女長)は長る「一

歴版の教育協議者(第一教育第 | を使用、目下從来の共前井戸、及、更に再び調査をなし収良を加へる |

關係府議と校長ら打合せ

新設地の水質調査中であるが返送 もの、及び水質調査の結果により

一百年後一時から府事に表記で第一の共同非月数は七百七十〇で八年、新郡西尉の決定をなず皆である。

日まで放性販売であつたのを今回、は弱師井戸のカルキ消散を行ひ、「「昭長としして」「窓鞭するや」せよりと述べて供給部内に開島を削が質調定をしたのみでその後今」なほ七日から三日間福山部宮内で「器へ」「部

総官としての最出しであった観音。あれ、総に顕微器政は平穏の立題 カフェーバ しい聞けを開まれた総関金」さん葉 菱総政は一芸能派、そして指展で「管内には総数にを中心に

大十年が混みあつてをり、展展、宝一至日に打撲的を負ったので直ちに

管長入城

各地を巡教

1就食に約一し、機能を大概し公使脈に令息は

格納庫南間コンタリー

間に近要

東セ公仲自り提近に習過行をなし 過き羽田飛行場で愛機リタイアン 等 ギラール少路は七日午後四時 行頭行を試みんとするメキシコ公

ト壁に令息オニギニオー芸(八)を

紐を万向犯に描いて造々依囚に飛

修三胸部に皮下出血あり令息に昇

罪な就職詐欺

二人でのんきな暮し

傳染病大減り

生射のお蔭

政院に落ちつき各地を巡殺する 日午後二時五十分京城縣至列山

京畿道の管内では

昨年の半分となる

。人類劉皇々として龍山耳田氏が一早々劉政に向する訓示の一説に。 | 經數せしめてゐるが、月天顯詩初 | 菩薩しようとした際議士を試って

明朗松岡署長さんの初仕事

カフエ、バ

ーの整理

半島庭球界の豪華版

第世三回全鮮庭球選手權大

れてゐる監利貸の極行については

日

父代してどうやら午後七時

山崎氏の話に田倉澤方では支那人 十五や十六の子供が一顆紙幣を手 なんか訳幣は受け取り食いさらだ

にしたのは此過では初まつて以来

湖岸のキャンプ設管地

山龍(石月中別までに流放)が設、棚が扱いスロープを貸中にした欠い時間に越東山畔、長瀬嶺畔に長靴。て前面は湖に面し高山郷傍のお花品畔に越東山畔、長瀬嶺畔に長靴。て前面は湖に面し高山郷傍のお花品野子の丘にあつ 備され、兩方の間には快速な遊散 | 米山肚を型取つた二階建で丸木を

一変が用かされて遊覧客を持一般な重ねたヒュッテ型、入口を入

ないらしい、と思つたからはこの子一圓紙幣を見たこれの子一圓紙幣を見たこ

「君」六蹶を地戦して一夜沿りでこの高」とが「十三、四里にwest イ さて「長津湖に通ずる県林山雄に沿る行して」して、男子の一日前が明ない

る、これに別にも一寸説明して おいた案内機が新典(統定)へをと が、大変に、一次で、一次で、 が関目動車と対応って来て俗級 の一々を美しい際に設明して異 れることになってゐる

相に一に昨年から新興藤道は遊覧を誘致

ました。 まなら、これから からが異なられて、これがらが異ない。 があると思え、前にも認定した場合である。 なの位の選のりかと聞くと二里 をであたらう、ことで縁立の砂粒 を位置して一面紙幣を手に があると思え、前にも認定した縁 をの道の別かと聞くと二里 をてるたらう、ことで縁立の砂粒 をの道の別かと聞くと二里 をてるたらう、ことで縁立の砂粒 をの道の別かと聞くと二里 をてるたらう、ことで縁立の砂粒

つてある

鐵道は威夷から松興郷まで赴戦

神秘の赴戦湖を望むー(軽緩緩緩緩)



農村の人々を蝕む

局利貸の大征伐

都會人&相當泣かさる

京畿道警察部が陣頭に立つ

地方の殿村田郡に出し、賦といば一るが、依然として後華勗利貴の談。下各者に封し皆内の高利貴の狀況「便義・貞蝶介の尊婉を行ふこと」な 窓をみてある、京徽道藝紀郎で一につき調査を命じた、この監利費った、「管内には均同井戸と私歌」それら、献立した

無線質別を質励して収縮つてはゐ」とになり下行無線器提はすでに置「面によす分手を入れるはずである機瓣について常聞に影影合思える」以てこの高利度配度に乗り出する「城、に川、間城等にもおくくこの方機瓣にかんがみ、決惑を「総代はひとり曲方點若に跟らず瓦

鍾路方面一帯に三り の街を浄化

非戸を合せ約五干間あるが、萬一 は姚檀賀用を即四廿回献立した **電視れの場合は同器まで届出ら** 関節防空間材質に献金した 献金美談 线は州盟を節約層

は亡夫人の認志を聞いで六十回を さ、江脈道金七帯京仏上野神義氏田縣神等三郎氏は廿二国四十六銭 |羅南本町第一飲兵保險出版所主

型 京城庭忠盟に前梁する所 地の地銀奈は十三日午後四時か 型校は十三日午後四時か

田澤千代子

家文子女史 舞踊と音樂の夕 七月十日午後七時半府民館(一四時) 搜後社本

地綱祭ご上棟式

実等の遊戯場が廿八箇所あるがこ 墨國公使の飛行機

・夏宵絶好の贈りもの

明明化するためまづ第一歩をカフ

喫茶品、遊戯場等の 出し、不能

るるものもあれば、定員以上のサ のが、敷日後はパーに早替りして り、ウドン国と思つて許可したも 各地で詩吟會

れらの中には無許可の喫茶店もあ一合なものは片つ階から處分すると

|株式曾心へ世話するとて三国を記

敗した外就職詐欺恐門に原贈住ひ

関
る
胡
は
十
固

群山仁川間

平區、歐與、新遊山上静以館を明 **能各地を巡討、釜山、大昭、京城** ら月末まで約二週間の登定で、朝

干賣用金

路に四五日日から仁川門船が割込 [二] 諸] 仁川郡山間の沿岸が 汽船競爭

に至りその成行を出目されてあるなり、庶上三元の董事は選化するから帰榜一十億に属下げする事に み、健康制度路に配船を行つてる 間に競手となり、海洋社及び忠阳に顕新海洋社及忠阳高船資産との 四下げしたが、仁川汽船でも七日 八船野紅では直に群山仙郷からて 川までの片に連打五一銭を甘醤に

し父子重傷

愛機で故國へ飛ぶ準備中

世を方向那に描いて遊々故図に雅 | を驅したが公便は釜湾三週間の東 双空湾三週間以上の重傷である【東京崑話】東郷常見滅山の武者 | 浦田縣町大概複読に収谷厨禁手宮 | を作折した際の出眺望たしくこ 雨浦水道 擴張を陳情

近米京城府内には就陸前次が凝々」として起り府内各署で個人振道中 現は明本明治な「別民は勝時段 等に水を與へよとの制型を以て 地別成績では八日午後四時から 電するとともに青木龍三郎氏氏 上一石山原語の六萬版民を数へ 十時までに制限した、水道振場が 水時間を一時間短級し朝大時から 府の上水道は来る十日より更に給 中省が遊戯として同夜直ちにと 「脳中の針」等々の脚下に十数を 「薩角斯」と記し、別ななよ話さ





等 真真腰ェハ 夢音器 50名機 2514

2 等

曹門和胡聞 昭和十一年七月二十日限 以後無為

キントンアメ本語立花型菓株式會社

赴戦高原の大自 ・の土間になりその先きが破扱り

・の土面になりそでリー・の土面になりを手に浴里、使用が順一二倍較六十人のノーの土面になりを事場で中央には白標(1000円に大尺の歌謡像に十人頃のでまたらは東幕場で中央には白標(100円に大尺の歌謡像に十人頃のできなってもの土面になりません。

二部院六十人の人々を収容田楽るの私木を吹ひ二部に五当、献下にるやうになつてゐる、欄刊は自得

花柳病国 学公告スーー

方法院 甲

ハ之ず肥可ス 外科花柳病 電型750和

京都官島崎病院

新 本 吉山松庄堂代理店山不清心堂 孫師(電本二七九七號)

米京国案內

東京 政 総入用語方家展三人 関連子希望の方は 前本四〇人二番へ

(本) グレヨン

地球鉛筆

女中 人用 世上内学人士八成より 北ユ属まで 原始状态 町一上工庫 町回航市 田田本島 コーニュ 町回航市

一道クレヨン

特別等以 仲 居 採用

五日(日贈日)京仁瀬富平水利田

釣具組合記念

釣大會成績

二百八十名

参加の盛況

名参加の上盛大に開催されたが左 京水路で川原大小天神二百八十年

忠山苗田

カルケツ

服都二一二女◆八等松本二一○
五等對樂會首下二五四女◆六等
五等對樂會首下二五四女◆六等

引動業債券賣出人

選へる 時はいつ も二十圓 行銀業勧本日

七月十五日—十八日まで

抽鐵発表

1000名標

ハーモニカ メハ 掛大罐

32 200

4 等

3 等

双眼镜之小 弧 微 鏡 100名陰 23519637

ジニテス 配於五十組各號

日には、お兄さんから東京へ沿い『――丁匹あの電報の来た則の

来てみると家には

掘山の方の事務

もう夜の十時過ぎでした。此處へ



『え」ってもれ、それを話す即に、

| 推つてしまつたと云ふのを御存じ | た瞬山への愛着は、他人の物にな。同三時四〇分(東) 気象通報 お兄さんは此の家も鎌山も人手に一自分の分身のやうに考へてゐらし

のよ、お父さんの死の直接の敵なやりしてあるお母さんに、私は此 万銭山へ行つて、兄さんの時朝

同一時(史)婦人諸座 同一時(史)婦人諸座

この意味からこの六四間飛の味「趣を洩してゐるが、要するに根理」に、此の位勝ちを飽くまで守り論ずや結果は難らしてくれるものだ「幽分悪い將供を指しました、と感」と位簡となつたそれであると同時は厳しい先さへ建つてゐれば、必」 小暴君が五七間玉と取る處で、「に上くべき點は前途の通り五五光

た劉局かと親はれやう

金 易二郎

和の常識

觀

記

部なのに、何ぬかで施丁々々つて一云つてゐたが。で、それは何時観と云ふことはちずんと解つてゐる一窓しんでゐると云ふずうなことは、戦もお通後してお交さんの死んだ」にあつた時、財政性にお交さんが

同六時三〇分 (京) 英孤磯座 年前六時 (東) ラヂオ體操 同七時一分(東)朝の修設(三)同七時一分(東)朝の修設(三)山本 日の番組 放曜日

同九時一五分 気象道報・料理献同九時(页) 三腱メモ - (東) 時報・月用品値段・鮮ース物について 高木美代子 高木美代子

■四ヶ橋交樂座より中徽 受飼苅豆』木下川堤の段 ・東京学座より中徽

夏の飲料(三) 遊路 貨砂同一〇時三〇分(東)家庭講座 瀬井 蘇治

同零時三五分(大) 西足歌腦

阿品 等于 海市人樂隊

ラヂオスケツチ

休みが來る

んであるのは、二人の少年とお兄 あます。二人の少年はお兄さんの

和光さんと残子さんの二人は、

ヨイショーのしいも聞えます、中ア遠くで地引網です「ヨイショ した。彼は金色に輝いてみます。 藍脚版で、出記者は既に放送でお 東京語阿脱は尼江木馬京話阿飯

腸の干餓が、うたふ昔の今探も合 かわらぬ御代の御野、こふくのこ 三下りて、形頂線毛のいろすがた、 念でうちよするへ四方のしき很、

題に法律の質値を理談職するやらの思想から法律派院の思想に進み文化階積の上昇に從つて法律高能 になるものと思はれる、社會英段

律家の立場滞近年後元時半

蠘一

して番柄、進 | 掛づよく一般にあるやらに思はれ | 法親の仮覧を非認識すべき時期に出述してこれ | るので、この思想を極めて遺俗師| 達してゐることをお話したいと思想があるから。

職 同一〇時 ニュース(初年記・近年) ハのニュース (初年記・近年) ハのニュース (初年記・近年) が (分を)



オツシュ製品

1 年度資産 柳 生 商店 東京市赤阪區溜地町一五東京市赤阪區溜地町一五東京市赤阪區溜地町一五 塞北大連率 天福岡 静岡 京城東京神戸名古屋 ボッシュ部

一品の存在を御利起下さい はり責任を指しぬ様知 がます がの性能を損じぬ様知 があるボッシュ製 フラゲ、マケネト)、コイル、デイル、 登山 ない。 優和 ボンブ、 電気工具、 及器・グリースポンプ、 プズル、 注油器・グリースポンプ、 電気工具、 及器 研究系 ブレーキ 其他

てすから…… ば 0000 共心のサーワ 自粉 が一番です

と

淡自

さな

+

●分子が細く三倍も伸びるから ●襟を汚さず又汗や脂に崩れず 三分の一の小量で濃淡自在 時が經つ程却つて死を増す

B

ヘ酵本接直てに祭郵はひ要替賞小か菩提は節の等れ切品に密展 (原不利送)いざ下交往御

g

ケ定價金十級・大型二十餘

又日熊を防ぎ勘買寄り鮮か 店 商 屋 見 丸 (○--ヒ京東音場) 國州・京東 舗本館石ワツミ○

専育特許の動か

五五三二十 十十十十 经 经 经 经 经

銀粒 仁丹藥價 (百五十粒) (三百二十粒) (四 百 粒) (九 百 粒) (一 千 粒)